

2 調査結果

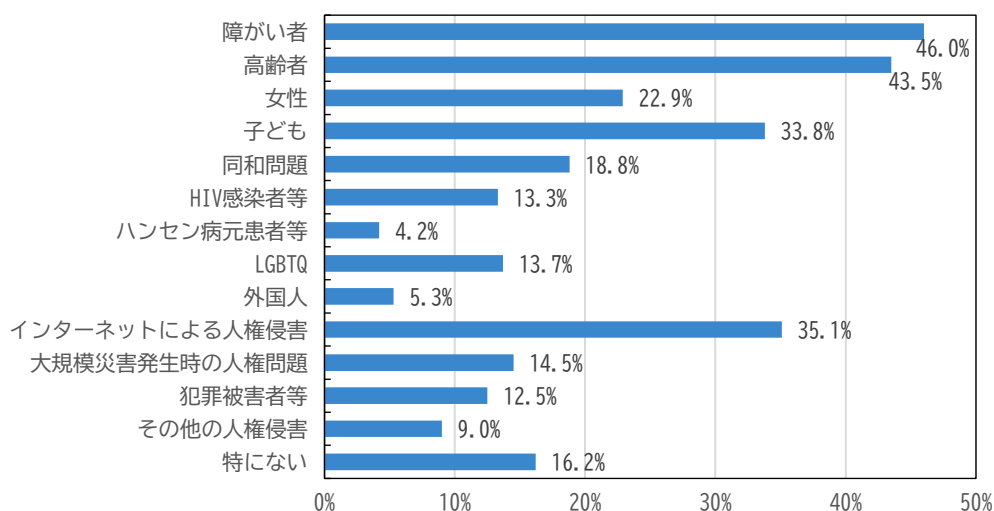
(1) 人権課題のかかわり方や経験について

問 4 あなたが関心のある人権課題はどれですか。 【〇はいくつでも】

■全体

「障がい者」が 46.0%と最も高く、次いで「高齢者」が 43.5%、「インターネットによる人権侵害」35.1%、となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①障がい者	353	44.9%	46.0%
②高齢者	334	42.4%	43.5%
③女性	176	22.4%	22.9%
④子ども	259	32.9%	33.8%
⑤同和問題（部落差別問題）	144	18.3%	18.8%
⑥HIV感染者等	102	13.0%	13.3%
⑦ハンセン病元患者等	32	4.1%	4.2%
⑧LGBTQ（性自認・性の多様性）	105	13.3%	13.7%
⑨外国人	41	5.2%	5.3%
⑩インターネットによる人権侵害	269	34.2%	35.1%
⑪大規模災害発生時の人権問題	111	14.1%	14.5%
⑫犯罪被害者等	96	12.2%	12.5%
⑬その他の人権問題	69	8.8%	9.0%
⑭特にない	124	15.8%	16.2%
<無回答>	20	2.5%	
合計	787	100.0%	767



【参考】高知県調査

障がい者 47.6%、高齢者 43.3%、インターネットによる人権侵害 42.4%、子ども 36.9%

■年代別

10歳・20歳代と50歳代で「インターネットによる人権侵害」、30歳代と40歳代で「子ども」、60歳代では「障がい者」と「高齢者」、70歳以上で「高齢者」がそれぞれ最も高くなっている。また全ての年代で「特にない」が10%を越えている。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	44人	75人	106人	111人	163人	266人
①障がい者	45.5%	38.7%	47.2%	46.8%	52.8%	42.9%
②高齢者	18.2%	17.3%	33.0%	39.6%	52.8%	55.6%
③女性	31.8%	32.0%	34.9%	25.2%	17.2%	16.9%
④子ども	27.3%	50.7%	51.9%	34.2%	30.1%	24.8%
⑤同和問題	11.4%	12.0%	23.6%	14.4%	20.9%	20.7%
⑥HIV感染者等	13.6%	10.7%	14.2%	13.5%	16.0%	12.0%
⑦ハンセン病元患者等	2.3%	2.7%	5.7%	3.6%	3.7%	4.9%
⑧LGBTQ	29.5%	24.0%	23.6%	13.5%	11.0%	5.6%
⑨外国人	6.8%	9.3%	8.5%	7.2%	4.3%	2.6%
⑩インターネットによる人権侵害	50.0%	38.7%	46.2%	47.7%	37.4%	19.9%
⑪大規模災害発生時の人権問題	6.8%	12.0%	18.9%	12.6%	17.2%	13.2%
⑫犯罪被害者等	11.4%	13.3%	18.9%	9.9%	15.3%	9.0%
⑬その他の人権侵害	4.5%	5.3%	6.6%	9.0%	13.5%	9.0%
⑭特にない	18.2%	20.0%	12.3%	15.3%	13.5%	18.4%

■性別

「障がい者」が男性 40.1%、女性 49.9%と最も高く、次いで「高齢者」が男性 36.5%、女性 48.4%となっており、関心のある人権問題の上位2つは男女とも同じ人権問題となっている。

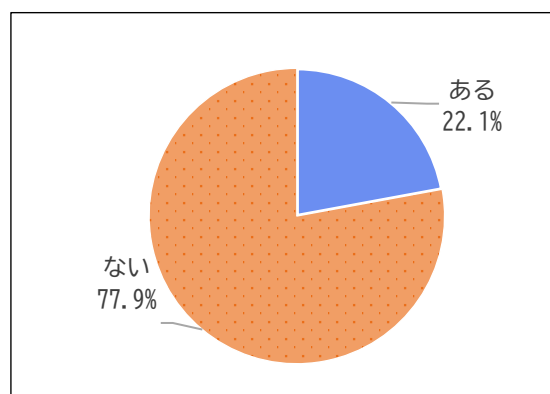
	男性	女性	回答したくない
合計	299人	461人	5人
①障がい者	40.1%	49.9%	40.0%
②高齢者	36.5%	48.4%	40.0%
③女性	12.7%	29.5%	40.0%
④子ども	24.7%	39.5%	60.0%
⑤同和問題	18.1%	19.3%	20.0%
⑥HIV感染者等	11.7%	14.3%	20.0%
⑦ハンセン病元患者等	3.3%	4.8%	-
⑧LGBTQ	9.0%	16.3%	40.0%
⑨外国人	5.4%	5.4%	-
⑩インターネットによる人権侵害	29.4%	38.6%	40.0%
⑪大規模災害発生時の人権問題	14.0%	14.5%	20.0%
⑫犯罪被害者等	10.0%	13.4%	60.0%
⑬その他の人権侵害	10.0%	8.2%	20.0%
⑭特にない	21.7%	12.4%	20.0%

問 5 あなたは、今までにご自分の人権が侵害されたと思っただことがありますか。
【いずれかに○】

■全体

人権が侵害された経験は「ない」が 77.9%、「ある」22.1%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答 除外
①ある	169	21.5%	22.1%
②ない	595	75.6%	77.9%
<無回答>	23	2.9%	
合計	787	100.0%	764



【参考】高知県調査

ない 67.1%、ある 31.1%

■年代別

「ある」は40歳代の39.0%が最も高く、70歳以上が14.6%と最も低くなっている。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	45人	73人	105人	109人	162人	268人
①ある	17.8%	27.4%	39.0%	24.8%	21.0%	14.6%
②ない	82.2%	72.6%	61.0%	75.2%	79.0%	85.4%

■性別

「ある」が男性19.7%、女性23.4%と女性のほうが高くなっている。

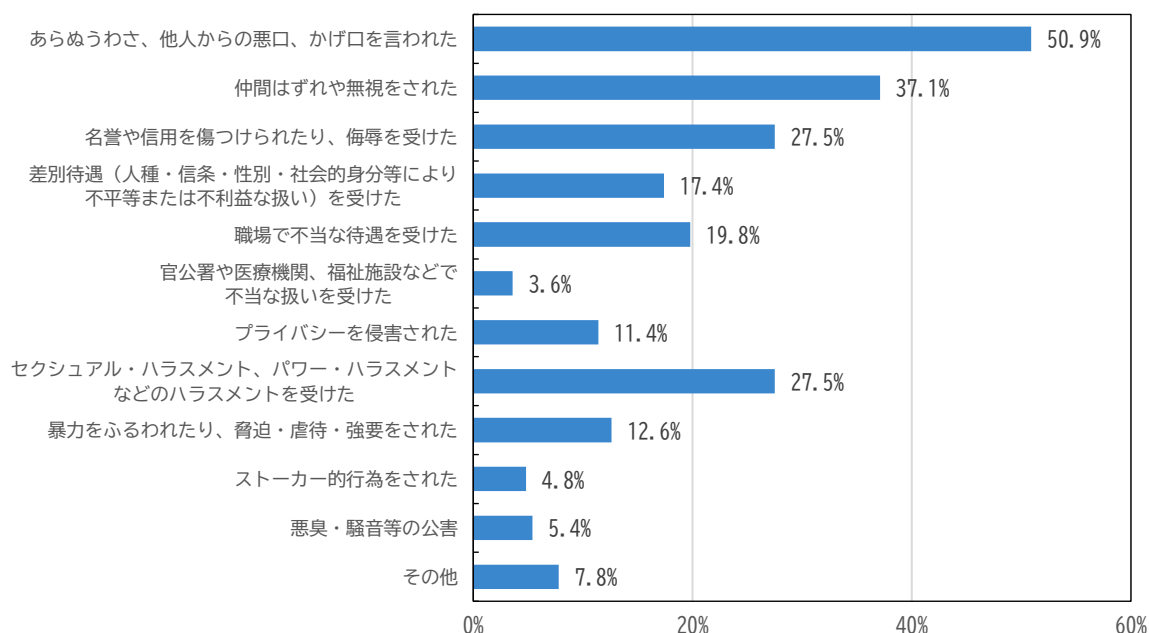
	男性	女性	回答したくない
合計	300人	457人	5人
①ある	19.7%	23.4%	60.0%
②ない	80.3%	76.6%	40.0%

問 5-1 問5で「ある」とお答えいただいた方に質問します。どのようなことで人権が侵害されたと思われましたか。 【〇はいくつでも】

■全体

「あらぬうわさ、他人からの悪口、かげ口を言われた」が 50.9%で最も高く、「仲間はずれや無視をされた」37.1%、「名誉や信用を傷つけられたり、侮辱を受けた」と「セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントなどのハラスメントを受けた」がそれぞれ 27.5%と続いている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①あらぬうわさ、他人からの悪口、かげ口を言われた	85	50.3%	50.9%
②仲間はずれや無視をされた	62	36.7%	37.1%
③名誉や信用を傷つけられたり、侮辱を受けた	46	27.2%	27.5%
④差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分等により不平等・不利益な扱い）	29	17.2%	17.4%
⑤職場で不当な待遇を受けた	33	19.5%	19.8%
⑥官公署や医療機関、福祉施設などで不当な扱いを受けた	6	3.6%	3.6%
⑦プライバシーを侵害された	19	11.2%	11.4%
⑧セクシュアル・パワー・ハラスメントなどのハラスメント	46	27.2%	27.5%
⑨暴力をふるわれたり、脅迫・虐待・強要をされた	21	12.4%	12.6%
⑩ストーカー的行為をされた	8	4.7%	4.8%
⑪悪臭・騒音等の公害	9	5.3%	5.4%
⑫その他	13	7.7%	7.8%
<無回答>	2	1.2%	
合計	169	100.0%	167



【参考】高知県調査

あらぬうわさ、他人からの悪口、かげ口を言われた 49.3%、名誉・信用のき損、侮辱 25.7%

パワー・ハラスメント 24.8%、セクシュアル・ハラスメント 8.2%（ハラスメント合計 33.0%）

■年代別

10歳・20歳代で「仲間はずれや無視をされた」、その他の年代で「あらぬうわさ、他人からの悪口、かげ口を言われた」がそれぞれもっとも高くなっている。

	10歳・ 20歳代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 以上
合計	8人	20人	41人	27人	34人	37人
①あらぬうわさ、他人からの悪口、かげ口を言われた	37.5%	70.0%	51.2%	51.9%	41.2%	51.4%
②仲間はずれや無視をされた	50.0%	40.0%	41.5%	37.0%	35.3%	29.7%
③名誉や信用を傷つけられたり、侮辱を受けた	25.0%	10.0%	29.3%	37.0%	29.4%	27.0%
④差別待遇を受けた	25.0%	20.0%	22.0%	14.8%	11.8%	16.2%
⑤職場で不当な待遇を受けた	-	15.0%	31.7%	37.0%	11.8%	8.1%
⑥官公署や医療機関、福祉施設などで不当な扱いを受けた	12.5%	-	4.9%	7.4%	2.9%	-
⑦プライバシーを侵害された	12.5%	30.0%	4.9%	14.8%	2.9%	13.5%
⑧セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントなどのハラスメントを受けた	37.5%	35.0%	31.7%	40.7%	17.6%	16.2%
⑨暴力をふるわれたり、脅迫/虐待/強要をされた	25.0%	10.0%	17.1%	18.5%	-	13.5%
⑩ストーカー的行為をされた	25.0%	5.0%	7.3%	-	-	5.4%
⑪悪臭・騒音等の公害	-	-	4.9%	7.4%	8.8%	5.4%
⑫その他	12.5%	10.0%	-	14.8%	8.8%	8.1%

■性別

「あらぬうわさ、他人からの悪口、かげ口を言われた」がそれぞれ最も高く、「官公署や医療機関、福祉施設などで不当な扱いを受けた」がそれぞれ最も低くなっている。

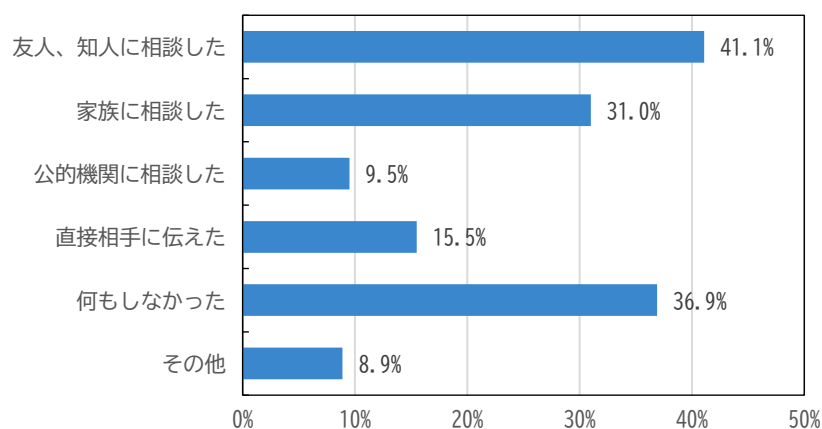
	男性	女性	回答したくない
合計	57人	107人	3人
①あらぬうわさ、他人からの悪口、かげ口を言われた	49.1%	51.4%	66.7%
②仲間はずれや無視をされた	33.3%	39.3%	33.3%
③名誉や信用を傷つけられたり、侮辱を受けた	38.6%	21.5%	33.3%
④差別待遇を受けた	26.3%	12.1%	33.3%
⑤職場で不当な待遇を受けた	22.8%	16.8%	66.7%
⑥官公署や医療機関、福祉施設などで不当な扱いを受けた	5.3%	2.8%	-
⑦プライバシーを侵害された	10.5%	12.1%	-
⑧セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントなどのハラスメントを受けた	14.0%	34.6%	33.3%
⑨暴力をふるわれたり、脅迫・虐待・強要をされた	10.5%	13.1%	33.3%
⑩ストーカー的行為をされた	-	7.5%	-
⑪悪臭・騒音等の公害	7.0%	4.7%	-
⑫その他	7.0%	8.4%	-

問 5-2 人権が侵害されたと思ったときどうされましたか。 【〇はいくつでも】

■全体

「友人、知人に相談した」が41.1%と最も高く、次いで「何もしなかった」36.9%、「家族に相談した」31.0%となっている。「公的機関に相談した」が9.5%と低くなっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答 除外
①友人、知人に相談した	69	40.8%	41.1%
②家族に相談した	52	30.8%	31.0%
③公的機関に相談した	16	9.5%	9.5%
④直接相手に伝えた	26	15.4%	15.5%
⑤何もしなかった	62	36.7%	36.9%
⑥その他	15	8.9%	8.9%
<無回答>	1	0.6%	
合計	169	100.0%	168



【参考】高知県調査

友人、職場の同僚・上司に相談した 30.1%、何もしなかった 37.5%、
家族に相談した 28.3%、

警察に相談した 5.8%、県や市町村役場に相談した 3.8%、
法務局や人権擁護委員に相談した 3.2%(公的機関相談の合計 12.8%)

■年代別

10歳・20歳代で「家族に相談した」、30歳代、40歳代、60歳代で「友人、知人に相談した」、50歳代、70歳代で「何もしなかった」がそれぞれ最も高くなっている。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	8人	19人	41人	27人	34人	39人
①友人、知人に相談した	37.5%	68.4%	41.5%	40.7%	47.1%	23.1%
②家族に相談した	50.0%	47.4%	39.0%	22.2%	26.5%	20.5%
③公的機関に相談した	12.5%	5.3%	9.8%	7.4%	5.9%	15.4%
④直接相手に伝えた	12.5%	21.1%	17.1%	7.4%	14.7%	17.9%
⑤何もしなかった	12.5%	21.1%	31.7%	44.4%	35.3%	51.3%
⑥その他	12.5%	10.5%	9.8%	7.4%	5.9%	10.3%

■性別

男性は「何もしなかった」が41.4%と最も高いのに対し、女性は「友人、知人に相談した」が51.4%と最も高くなっている。また、男女とも「公的機関に相談した」が男性10.3%、女性8.4%と最も低くなっている。

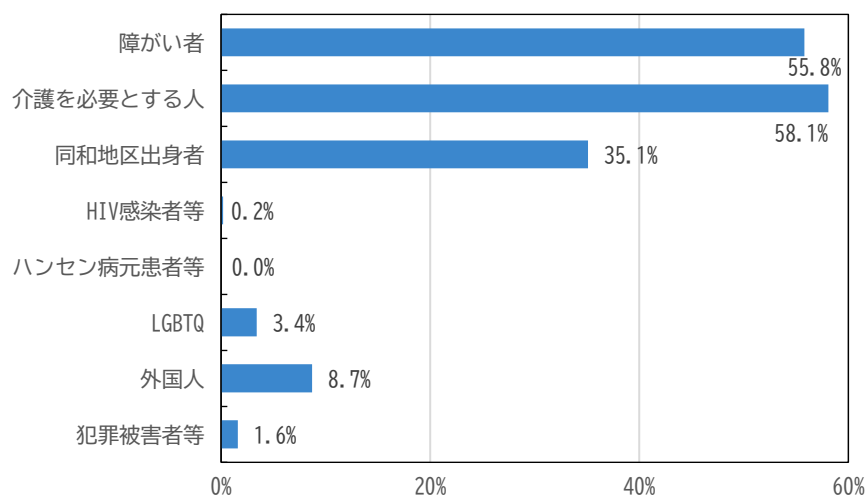
	男性	女性	回答したくない
合計	58人	107人	3人
①友人、知人に相談した	20.7%	51.4%	66.7%
②家族に相談した	19.0%	38.3%	-
③公的機関に相談した	10.3%	8.4%	33.3%
④直接相手に伝えた	13.8%	16.8%	-
⑤何もしなかった	41.4%	33.6%	66.7%
⑥その他	12.1%	7.5%	-

問 6 親しくしている人の中に、次のような人はいますか。 【〇はいくつでも】

■全体

「介護を必要とする人」が 58.1%と最も高く、次いで「障がい者」55.8%、「同和地区出身者」35.1%となっている。「ハンセン病元患者等」は 0%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①障がい者	281	35.7%	55.8%
②介護を必要とする人	293	37.2%	58.1%
③同和地区出身者	177	22.5%	35.1%
④HIV感染者等	1	0.1%	0.2%
⑤ハンセン病元患者等	0	0.0%	0.0%
⑥LGBTQ	17	2.2%	3.4%
⑦外国人	44	5.6%	8.7%
⑧犯罪被害者等	8	1.0%	1.6%
<無回答>	283	36.0%	
合計	787	100.0%	504



■年代別

全ての年代で「障がい者」「介護を必要とする人」の割合が高くなっている。

また、40歳代で「同和地区出身者」が53.4%と他の年代に比べ高くなっている。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	22人	44人	58人	86人	115人	178人
①障がい者	54.5%	36.4%	58.6%	57.0%	63.5%	53.9%
②介護を必要とする人	59.1%	61.4%	50.0%	48.8%	62.6%	61.8%
③同和地区出身者	9.1%	31.8%	53.4%	44.2%	33.0%	30.3%
④HIV感染者等	-	-	-	-	0.9%	-
⑤ハンセン病元患者等	-	-	-	-	-	-
⑥LGBTQ	13.6%	4.5%	8.6%	3.5%	0.9%	1.7%
⑦外国人	27.3%	6.8%	13.8%	9.3%	7.0%	6.2%
⑧犯罪被害者等	4.5%	2.3%	1.7%	3.5%	-	1.1%

■性別

性別でみると、男女ともに「介護を必要とする人」が最も高くなっている。

	男性	女性	回答したくない
合計	201人	298人	3人
①障がい者	53.7%	56.7%	100.0%
②介護を必要とする人	54.2%	61.4%	-
③同和地区出身者	38.3%	33.2%	33.3%
④HIV感染者等	0.5%	-	-
⑤ハンセン病元患者等	-	-	-
⑥LGBTQ	2.0%	4.4%	-
⑦外国人	12.4%	6.4%	-
⑧犯罪被害者等	1.5%	1.7%	-

問 7 次のような場面に出合ったときあなたならどうされますか。

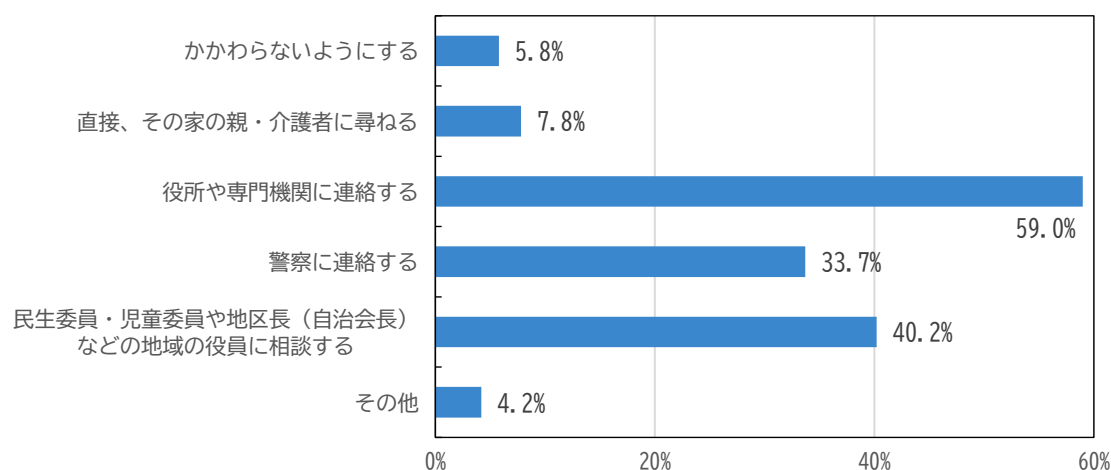
【〇はいくつでも】

A. 子どもや高齢者に対する虐待が疑われる場合

■全体

「役所や専門機関に相談する」が 59.0%と最も多く、次いで「民生委員・児童委員や地区長（自治会長）などの地域の役員に相談する」40.2%、「警察に連絡する」33.7%となっている

カテゴリ	件数	全体	無回答 除外
①かかわらないようにする	44	5.6%	5.8%
②直接、その家の親・介護者に尋ねる	59	7.5%	7.8%
③役所や専門機関に連絡する	447	56.8%	59.0%
④警察に連絡する	255	32.4%	33.7%
⑤民生委員・児童委員や地区長（自治会長）などの地域の役員に相談する	304	38.6%	40.2%
⑥その他	32	4.1%	4.2%
<無回答>	30	3.8%	
合計	787	100.0%	757



【参考】高知県調査

設問 子どもが虐待されていると知った場合の対応（単一回答）

市町村役場や福祉事務所などに相談する 21.6%、

民生委員・児童委員に通報する 9.0%、警察に連絡する 11.8%

■年代別

70歳代は「民生委員・児童委員や地区長(自治会長)などの地域の役員に相談する」、その他の年代では「役所や専門機関に連絡する」が最も高くなっている。一方「かかわらないようにする」も全ての年代で一定数確認できる。

	10歳・ 20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳 以上
合計	44人	75人	106人	109人	162人	259人
①かかわらないようにする	13.6%	9.3%	5.7%	6.4%	3.7%	4.6%
②直接、その家の親・介護者に尋ねる	11.4%	9.3%	5.7%	6.4%	7.4%	8.5%
③役所や専門機関に連絡する	52.3%	70.7%	60.4%	69.7%	58.0%	52.5%
④警察に連絡する	34.1%	40.0%	36.8%	37.6%	32.1%	30.1%
⑤民生委員・児童委員や地区長などの地域の役員に相談する	15.9%	17.3%	27.4%	33.0%	50.0%	53.3%
⑥その他	6.8%	9.3%	6.6%	1.8%	2.5%	3.1%

■性別

「役所や専門機関に連絡する」がそれぞれ最も高くなっている。

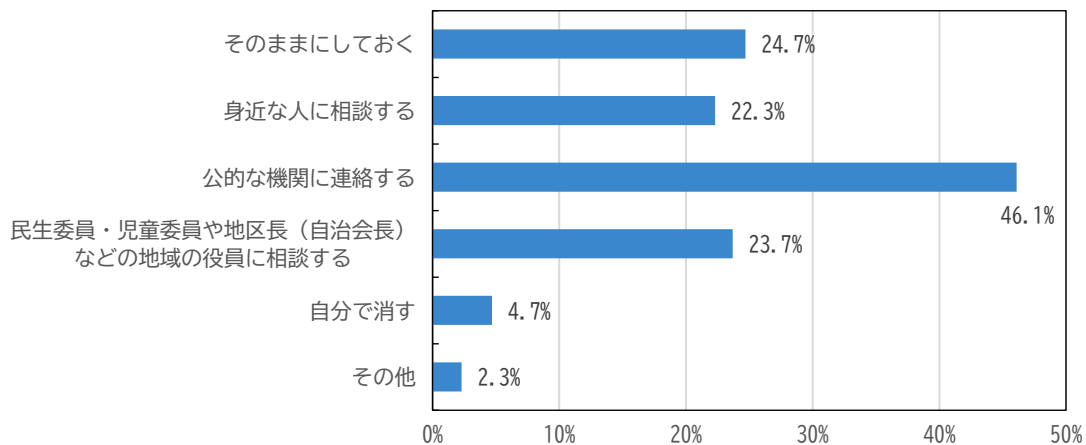
	男性	女性	回答したくない
合計	296人	454人	5人
①かかわらないようにする	6.1%	5.7%	-
②直接、その家の親・介護者に尋ねる	9.5%	6.8%	-
③役所や専門機関に連絡する	56.4%	60.8%	60.0%
④警察に連絡する	40.2%	29.7%	20.0%
⑤民生委員・児童委員や地区長などの地域の役員に相談する	36.8%	42.5%	40.0%
⑥その他	3.0%	4.6%	20.0%

B. 街で差別落書きを見つけた場合

■全体

「公的な機関に連絡する」が 46.1%と最も高く、次いで「そのままにしておく」24.7%、「民生委員・児童委員や地区長(自治会長)などの地域の役員に相談する」23.7%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答 除外
①そのままにしておく	185	23.5%	24.7%
②身近な人に相談する	167	21.2%	22.3%
③公的な機関に連絡する	346	44.0%	46.1%
④民生委員・児童委員や地区長(自治会長)などの地域の役員に相談する	178	22.6%	23.7%
⑤自分で消す	35	4.4%	4.7%
⑥その他	17	2.2%	2.3%
<無回答>	37	4.7%	
合計	787	100.0%	750



■年代別

10歳・20歳代は「そのままにしておく」、その他の年代では「公的な機関に連絡する」がそれぞれ最も高くなっている。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	44人	74人	103人	110人	158人	259人
①そのままにしておく	38.6%	36.5%	31.1%	25.5%	25.9%	15.4%
②身近な人に相談する	20.5%	32.4%	20.4%	28.2%	20.3%	19.3%
③公的な機関に連絡する	31.8%	39.2%	52.4%	50.9%	44.9%	46.3%
④民生委員・児童委員や地区長などの地域の役員に相談する	11.4%	6.8%	13.6%	12.7%	24.1%	39.4%
⑤自分で消す	2.3%	-	3.9%	4.5%	4.4%	6.9%
⑥その他	2.3%	1.4%	1.0%	1.8%	2.5%	3.1%

■性別

「公的な機関に連絡する」がそれぞれ最も高くなっている。

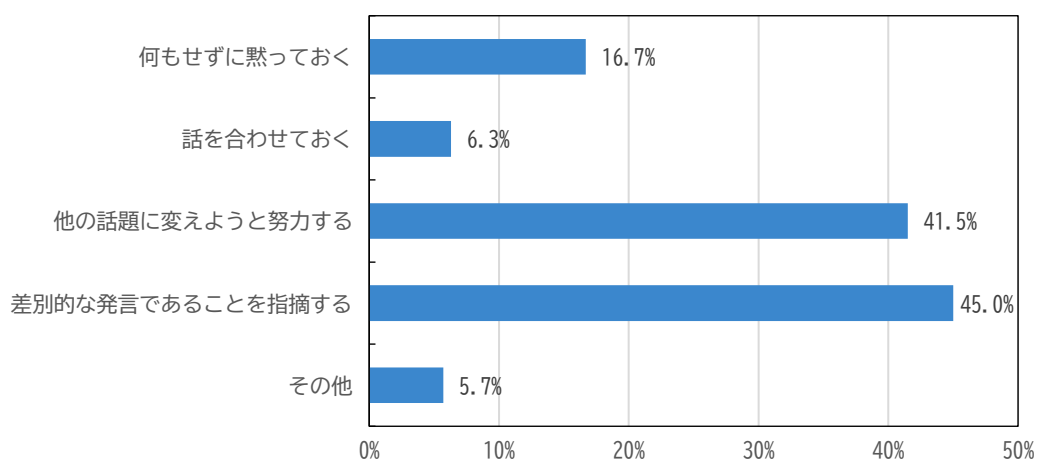
	男性	女性	回答したくない
合計	293人	450人	5人
①そのままにしておく	26.6%	23.8%	-
②身近な人に相談する	15.0%	26.7%	60.0%
③公的な機関に連絡する	50.5%	43.1%	40.0%
④民生委員・児童委員や地区長などの地域の役員に相談する	19.8%	26.7%	-
⑤自分で消す	6.5%	3.6%	-
⑥その他	3.8%	1.3%	-

C. 日常会話の中で、誰かが差別的な発言をした場合

■全体

「差別的な発言であることを指摘する」が45.0%と最も高く、次いで「他の話題に変えようと努力する」41.5%となっている。一方、「何もせずに黙っておく」16.7%、「話を合わせておく」6.3%を合わせると23%と高くなっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①何もせずに黙っておく	125	15.9%	16.7%
②話を合わせておく	47	6.0%	6.3%
③他の話題に変えようと努力する	311	39.5%	41.5%
④差別的な発言であることを指摘する	337	42.8%	45.0%
⑤その他	43	5.5%	5.7%
<無回答>	38	4.8%	
合計	787	100.0%	749



■年代別

10歳・20歳代、30歳代、50歳代で「他の話題に変えようと努力する」、40歳代、60歳代、70歳以上で「差別的な発言であることを指摘する」がそれぞれ最も高くなっている。

また、30歳代で「何もせずに黙っておく」が22.7%と他の年代に比べ高くなっている。

	10歳・ 20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳 以上
合計	44人	75人	106人	107人	159人	256人
①何もせずに黙っておく	11.4%	22.7%	14.2%	11.2%	17.6%	18.8%
②話を合わせておく	6.8%	8.0%	6.6%	8.4%	5.7%	5.1%
③他の話題に変えようと努力する	56.8%	46.7%	39.6%	54.2%	40.3%	33.6%
④差別的な発言であることを指摘する	40.9%	42.7%	42.5%	38.3%	48.4%	48.0%
⑤その他	-	6.7%	7.5%	4.7%	8.2%	4.7%

■性別

男性は「差別的な発言であることを指摘する」46.9%、女性は「他の話題に変えようと努力する」45.3%とそれぞれ最も高くなっている。

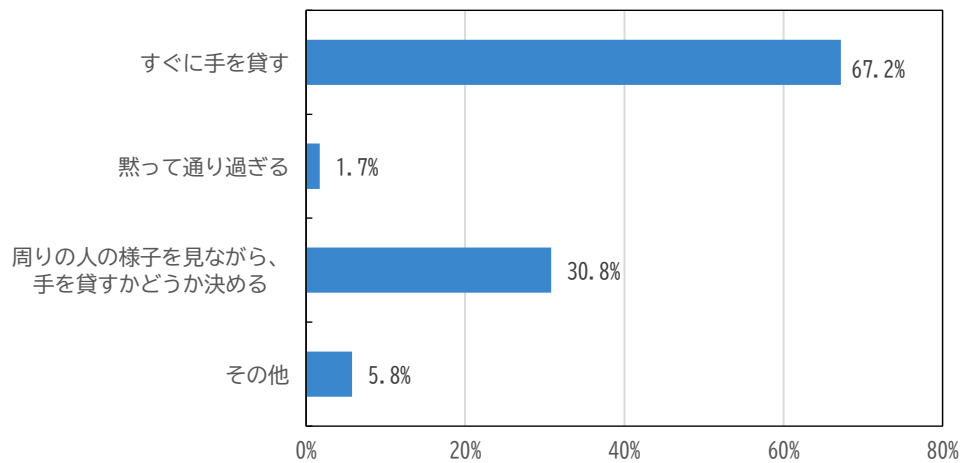
	男性	女性	回答したくない
合計	292人	450人	5人
①何もせずに黙っておく	16.8%	16.9%	-
②話を合わせておく	7.5%	5.1%	40.0%
③他の話題に変えようと努力する	35.6%	45.3%	60.0%
④差別的な発言であることを指摘する	46.9%	43.8%	20.0%
⑤その他	5.5%	6.0%	-

D. 街で車いすの人や白い杖(視覚障がいのある方等が使用する杖)を持った人が困っている場合

■全体

「すぐに手を貸す」が 67.2%と最も高く、次いで「周りの様子を見ながら、手を貸すかどうか決める」30.8%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答
①すぐに手を貸す	513	65.2%	67.2%
②黙って通り過ぎる	13	1.7%	1.7%
③周りの人の様子を見ながら、手を貸すかどうか決める	235	29.9%	30.8%
④その他	44	5.6%	5.8%
<無回答>	24	3.0%	
合計	787	100.0%	763



■年代別

10歳・20歳代で「周りの人の様子を見ながら、手を貸すかどうか決める」、その他の年代で、「すぐに手を貸す」がそれぞれ最も高くなっている。

	10歳・ 20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳 以上
合計	43人	75人	106人	109人	164人	264人
①すぐに手を貸す	46.5%	60.0%	60.4%	65.1%	67.1%	76.1%
②黙って通り過ぎる	2.3%	2.7%	0.9%	0.9%	0.6%	2.7%
③周りの人の様子を見ながら、手を貸すかどうか決める	60.5%	40.0%	37.7%	32.1%	28.7%	21.6%
④その他	2.3%	6.7%	5.7%	3.7%	7.9%	5.7%

■性別

「すぐに手を貸す」がそれぞれで最も高くなっている。

	男性	女性	回答したくない
合計	298人	458人	5人
①すぐに手を貸す	65.4%	68.6%	60.0%
②黙って通り過ぎる	2.0%	1.3%	-
③周りの人の様子を見ながら、手を貸すかどうか決める	33.6%	29.0%	40.0%
④その他	4.7%	6.6%	-

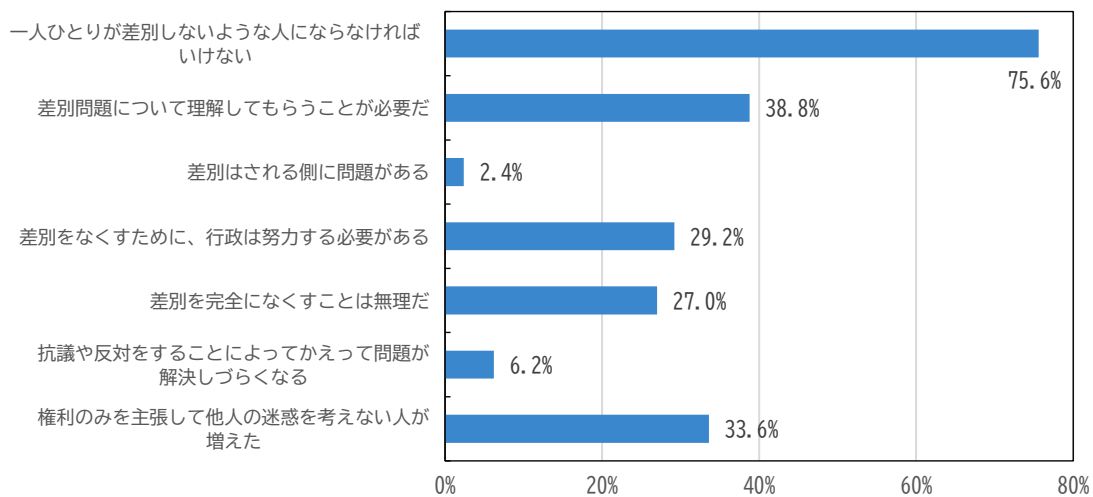
問 8 人権や差別について、あなたはどのような考えをおもちですか。

【〇はいくつでも】

■全体

「一人ひとりが差別をしないような人にならなければいけない」が 75.6%と最も高く、次いで「差別問題について理解してもらうことが必要だ」38.8%、「権利のみを主張して他人の迷惑を考えない人が増えた」33.6%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①差別は人間として恥ずべき行為であり、私たち一人ひとりが差別しないような人にならなければいけない	569	72.3%	75.6%
②差別問題に無関心な人にも、差別問題について理解してもらうことが必要だ	292	37.1%	38.8%
③差別はされる側に問題がある	18	2.3%	2.4%
④差別をなくすために、行政は努力する必要がある	220	28.0%	29.2%
⑤どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ	203	25.8%	27.0%
⑥差別に対して抗議や反対をすることによってかえって問題が解決しづらくなる	47	6.0%	6.2%
⑦権利のみを主張して他人の迷惑を考えない人が増えた	253	32.1%	33.6%
<無回答>	34	4.3%	
合計	787	100.0%	753



■年代別

各年代において、「差別は人間として恥ずべき行為であり、私たち一人ひとりが差別しないようなひとにならなければいけない」が最も高くなっている。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	43	74	107	108	160	259
①差別は人間として恥ずべき行為であり、私たち一人ひとりが差別しないようなひとにならなければいけない	76.7%	55.4%	63.6%	72.2%	80.6%	84.2%
②差別問題に無関心な人にも、差別問題について理解してもらうことが必要だ	39.5%	51.4%	46.7%	47.2%	40.0%	27.8%
③差別はされる側に問題がある	-	2.7%	0.9%	3.7%	2.5%	2.7%
④差別をなくすために、行政は努力する必要がある	23.3%	24.3%	21.5%	26.9%	30.6%	35.1%
⑤どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ	41.9%	45.9%	39.3%	22.2%	25.6%	16.6%
⑥差別に対して抗議や反対をすることによってかえって問題が解決しづらくなる	11.6%	2.7%	3.7%	9.3%	6.3%	6.2%
⑦権利のみを主張して他人の迷惑を考えない人が増えた	23.3%	27.0%	40.2%	27.8%	42.5%	31.7%

■性別

「差別は人間として恥ずべき行為であり、私たち一人ひとりが差別しないようなひとにならなければいけない」がそれぞれ最も高くなっている。

	男性	女性	回答したくない
合計	295人	451人	5人
①差別は人間として恥ずべき行為であり、私たち一人ひとりが差別しないようなひとにならなければいけない	69.8%	79.6%	40.0%
②差別問題に無関心な人にも、差別問題について理解してもらうことが必要だ	33.9%	41.9%	60.0%
③差別はされる側に問題がある	2.7%	2.2%	-
④差別をなくすために、行政は努力する必要がある	29.2%	29.5%	20.0%
⑤どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ	30.8%	23.9%	60.0%
⑥差別に対して抗議や反対をすることによってかえって問題が解決しづらくなる	6.8%	6.0%	-
⑦権利のみを主張して他人の迷惑を考えない人が増えた	36.6%	31.9%	20.0%

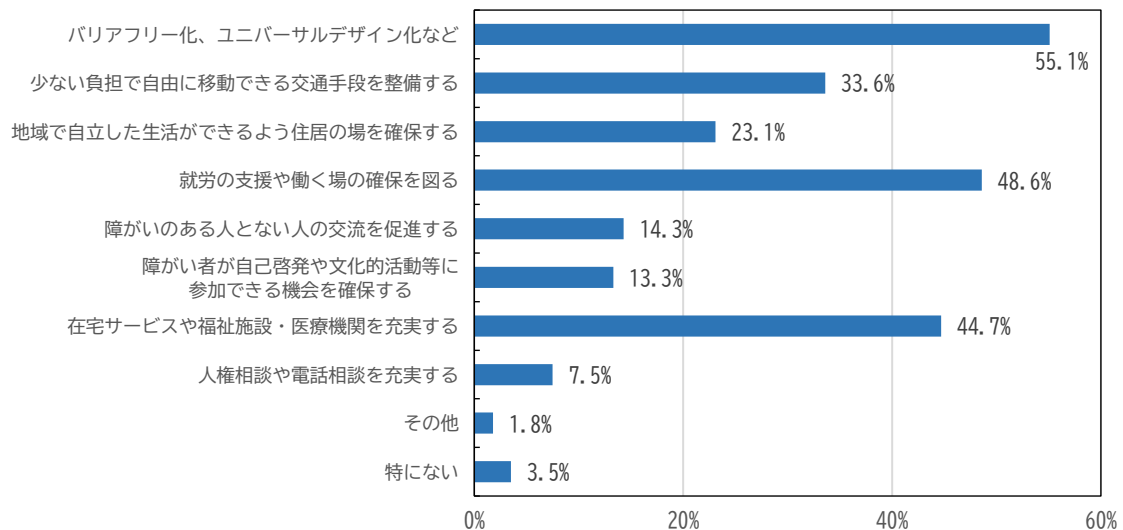
(2) 障がい者の人権について

問 9 あなたは、障がい者の人権を守るために特に必要なことはどのようなことだと思いますか。 【〇は3つ以内】

■全体

「バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化など」が 55.1%と最も高く、次いで「就労の支援や働く場の確保を図る」48.6%、「在宅サービスや福祉施設・医療機関を充実する」44.7%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①道路や交通機関、建物等のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化	419	53.2%	55.1%
②少ない負担で自由に移動できる交通手段を整備する	256	32.5%	33.6%
③地域で自立した生活ができるよう住居の場を確保する	176	22.4%	23.1%
④就労の支援や働く場の確保を図る	370	47.0%	48.6%
⑤障がいのある人とない人の交流を促進する	109	13.9%	14.3%
⑥障がい者が自己啓発や文化的活動等に参加できる機会を確保する	101	12.8%	13.3%
⑦在宅サービスや福祉施設・医療機関を充実する	340	43.2%	44.7%
⑧人権相談や電話相談を充実する	57	7.2%	7.5%
⑨その他	14	1.8%	1.8%
⑩特にない	27	3.4%	3.5%
<無回答>	26	3.3%	
合計	787	100.0%	761



【参考】高知県調査

バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化など 43.6%

就労の支援や働く場の確保を図る 50.9%、

ホームヘルプサービスやデイサービスなどの生活支援を推進する 29.4%

■年代別

10歳・20歳代、30歳代、60歳代で「道路や交通機関、建物等のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化など」、40歳代、50歳代で「就労の支援や働く確保を図る」、70歳以上で「在宅サービスや福祉施設・医療機関を充実する」がそれぞれ最も高くなっている。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	44人	75人	106人	111人	162人	261人
①道路や交通機関、建物等のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化など	75.0%	77.3%	51.9%	55.9%	59.3%	43.7%
②少ない負担で自由に移動できる交通手段を整備する	43.2%	25.3%	39.6%	31.5%	32.7%	33.7%
③地域で自立した生活ができるよう住居の場を確保する	22.7%	24.0%	26.4%	27.9%	24.1%	18.8%
④就労の支援や働く場の確保を図る	47.7%	45.3%	59.4%	58.6%	53.7%	37.5%
⑤障がいのある人とない人の交流を促進する	11.4%	17.3%	17.9%	17.1%	11.1%	13.4%
⑥障がい者が自己啓発や文化的活動等に参加できる機会を確保する	15.9%	6.7%	7.5%	17.1%	6.8%	19.2%
⑦在宅サービスや福祉施設・医療機関を充実する	36.4%	38.7%	40.6%	37.8%	54.3%	46.7%
⑧人権相談や電話相談を充実する	2.3%	1.3%	4.7%	2.7%	7.4%	13.0%
⑨その他	4.5%	4.0%	2.8%	3.6%	0.6%	0.4%
⑩特にない	2.3%	-	2.8%	2.7%	2.5%	6.1%

■性別

「道路や交通機関、建物等のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化など」がそれぞれ最も高くなっている。

	男性	女性	回答したくない
合計	296人	458人	5人
①道路や交通機関、建物等のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化など	50.3%	58.5%	40.0%
②少ない負担で自由に移動できる交通手段を整備する	31.4%	35.4%	20.0%
③地域で自立した生活ができるよう住居の場を確保する	23.3%	22.5%	80.0%
④就労の支援や働く場の確保を図る	48.3%	48.7%	60.0%
⑤障がいのある人とない人の交流を促進する	13.9%	14.6%	20.0%
⑥障がい者が自己啓発や文化的活動等に参加できる機会を確保する	15.9%	11.6%	-
⑦在宅サービスや福祉施設・医療機関を充実する	42.6%	46.3%	40.0%
⑧人権相談や電話相談を充実する	8.1%	7.0%	-
⑨その他	2.7%	1.3%	-
⑩特にない	3.7%	3.3%	-

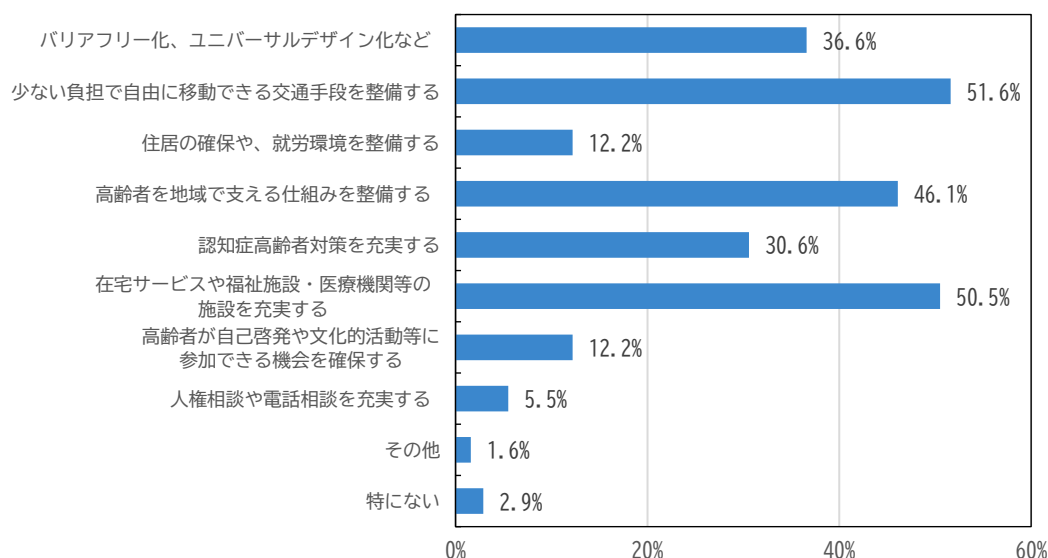
(3) 高齢者の人権について

問 10 あなたは、高齢者の人権を守るために特に必要なことはどのようなこと
だと思えますか。 【〇は3つ以内】

■全体

「少ない負担で自由に移動できる交通手段を整備する」が 51.6%と最も高く、「在宅サービスや福祉施設・医療機関等の施設を充実する」50.5%、「高齢者を地域で支える仕組みを整備する」46.1%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答 除外
①道路や交通機関、建物等のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化など	282	35.8%	36.6%
②少ない負担で自由に移動できる交通手段を整備する	397	50.4%	51.6%
③住居の確保や、就労環境を整備する	94	11.9%	12.2%
④高齢者を地域で支える仕組みを整備する	355	45.1%	46.1%
⑤認知症高齢者対策を充実する	236	30.0%	30.6%
⑥在宅サービスや福祉施設・医療機関等の施設を充実する	389	49.4%	50.5%
⑦高齢者が自己啓発や文化的活動等に参加できる機会を確保する	94	11.9%	12.2%
⑧人権相談や電話相談を充実する	42	5.3%	5.5%
⑨その他	12	1.5%	1.6%
⑩特にない	22	2.8%	2.9%
<無回答>	17	2.2%	
合計	787	100.0%	770



【参考】高知県調査

少ない負担で自由に移動できる交通手段を整備する 52.4%、
高齢者を地域で支える仕組みを整備する 36.3%

■年代別

10歳・20歳代、40歳代、60歳代で「在宅サービスや福祉施設・医療機関等の施設を充実する」、30歳代、40歳代、70歳以上で「少ない負担で自由に移動できる交通手段を整備する」、50歳代で「高齢者を地域で支える仕組みを整備する」がそれぞれ最も高くなっている。

	10歳・ 20歳代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 以上
合計	45人	75人	107人	110人	165人	266人
①道路や交通機関、建物等のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化など	44.4%	46.7%	40.2%	40.0%	37.0%	29.7%
②少ない負担で自由に移動できる交通手段を整備する	46.7%	52.0%	47.7%	56.4%	52.1%	51.1%
③住居の確保や、就労環境を整備する	11.1%	18.7%	23.4%	10.0%	10.9%	7.5%
④高齢者を地域で支える仕組みを整備する	51.1%	33.3%	40.2%	60.0%	47.9%	44.4%
⑤認知症高齢者対策を充実する	26.7%	32.0%	30.8%	30.0%	32.7%	29.7%
⑥在宅サービスや福祉施設・医療機関等の施設を充実する	55.6%	45.3%	47.7%	54.5%	59.4%	45.5%
⑦高齢者が自己啓発や文化的活動等に参加できる機会を確保する	6.7%	9.3%	11.2%	10.9%	13.9%	13.5%
⑧人権相談や電話相談を充実する	-	2.7%	2.8%	2.7%	3.0%	10.9%
⑨その他	4.4%	1.3%	5.6%	1.8%	-	0.4%
⑩特になし	4.4%	2.7%	2.8%	0.9%	1.2%	4.5%

■性別

男性は「少ない負担で自由に移動できる交通手段を整備する」52.2%、女性は「在宅サービスや福祉施設・医療機関等の施設を充実する」52.8%がそれぞれが最も高くなっている。

	男性	女性	回答したくない
合計	299人	464人	5人
①道路や交通機関、建物等のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化など	34.8%	38.4%	-
②少ない負担で自由に移動できる交通手段を整備する	52.2%	51.3%	40.0%
③住居の確保や、就労環境を整備する	12.7%	11.9%	20.0%
④高齢者を地域で支える仕組みを整備する	43.1%	48.1%	40.0%
⑤認知症高齢者対策を充実する	25.8%	33.8%	40.0%
⑥在宅サービスや福祉施設・医療機関等の施設を充実する	47.5%	52.8%	40.0%
⑦高齢者が自己啓発や文化的活動等に参加できる機会を確保する	12.4%	11.6%	40.0%
⑧人権相談や電話相談を充実する	6.7%	4.7%	-
⑨その他	2.3%	1.1%	-
⑩特になし	3.3%	2.4%	-

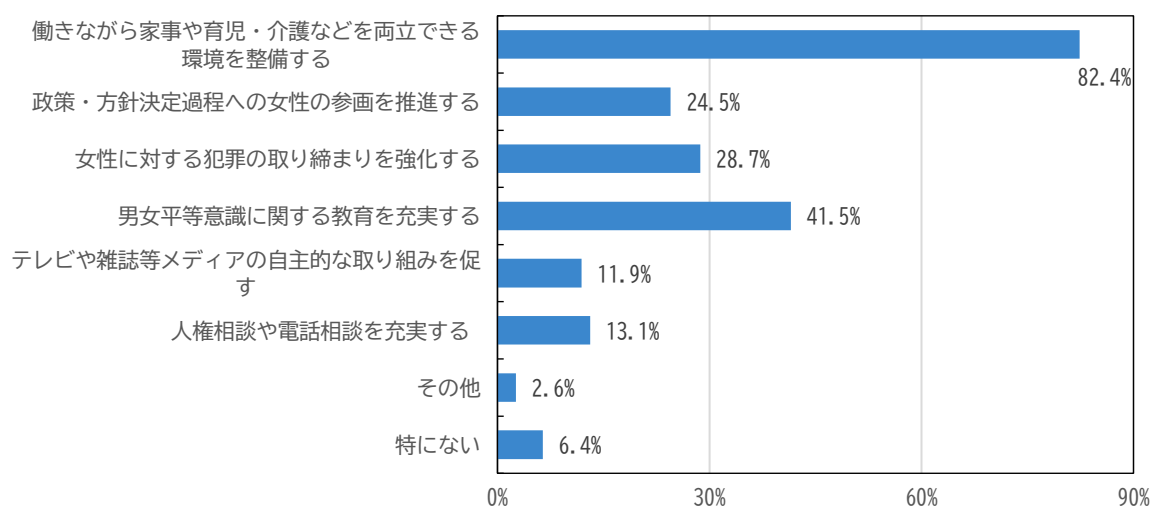
(4) 女性の人権について

問 11 あなたは、女性の人権を守るために特に必要なことは、どのようなことだと思いますか。 【〇は3つ以内】

■全体

「働きながら家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する」が82.4%と最も高く、次いで「男女平等意識に関する教育を充実する」41.5%、「女性に対する犯罪の取り締まりを強化する」28.7%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①男女が共に働きながら家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する	631	80.2%	82.4%
②政治や経済等の分野における政策・方針決定過程への女性の参画を推進する	188	23.9%	24.5%
③女性に対する犯罪の取り締まりを強化する	220	28.0%	28.7%
④男女平等意識に関する教育を充実する	318	40.4%	41.5%
⑤女性の人権を尊重した表現がされるよう、テレビや雑誌等メディアの自主的な取り組みを促す	91	11.6%	11.9%
⑥人権相談や電話相談を充実する	100	12.7%	13.1%
⑦その他	20	2.5%	2.6%
⑧特にない	49	6.2%	6.4%
<無回答>	21	2.7%	
合計	787	100.0%	766



【参考】高知県調査

働きながら家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する 68.1%
 男女平等に関する教育を充実する 31.1%、
 女性に対する犯罪の取り締まりを強化する 14.5%

■年代別

各年代に置いて、「男女が共に働きながら家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する」が最も高くなっている。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	45人	75人	107人	110人	163人	264人
①男女が共に働きながら家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する	86.7%	86.7%	75.7%	87.3%	82.2%	81.1%
②政治や経済等の分野における政策・方針決定過程への女性の参画を推進する	28.9%	22.7%	21.5%	28.2%	22.7%	25.0%
③女性に対する犯罪の取り締まりを強化する	33.3%	36.0%	32.7%	23.6%	27.0%	27.7%
④男女平等意識に関する教育を充実する	42.2%	36.0%	43.9%	46.4%	42.3%	39.4%
⑤女性の人権を尊重した表現がされるよう、テレビや雑誌等メディアの自主的な取り組みを促す	4.4%	8.0%	7.5%	11.8%	13.5%	15.2%
⑥人権相談や電話相談を充実する	4.4%	6.7%	12.1%	9.1%	11.7%	18.9%
⑦その他	4.4%	4.0%	4.7%	1.8%	3.1%	1.1%
⑧特になし	4.4%	5.3%	5.6%	3.6%	6.7%	8.3%

■性別

「男女が共に働きながら家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する」がそれぞれ最も高くなっている。

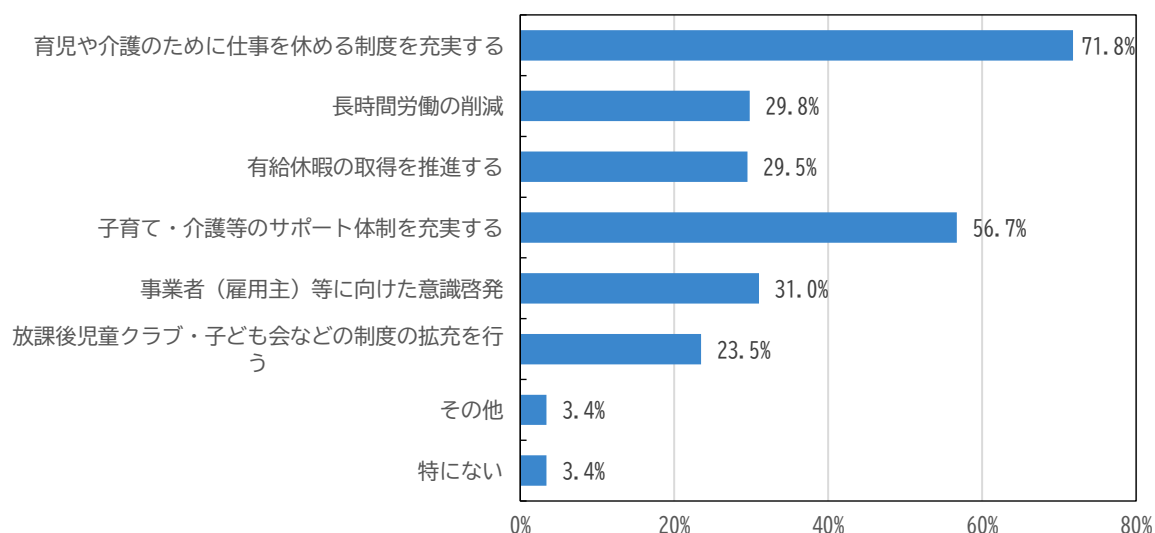
	男性	女性	回答したくない
合計	299人	460人	5人
①男女が共に働きながら家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する	78.9%	84.8%	80.0%
②政治や経済等の分野における政策・方針決定過程への女性の参画を推進する	23.4%	24.8%	60.0%
③女性に対する犯罪の取り締まりを強化する	25.8%	30.4%	60.0%
④男女平等意識に関する教育を充実する	43.5%	40.4%	20.0%
⑤女性の人権を尊重した表現がされるよう、テレビや雑誌等メディアの自主的な取り組みを促す	10.0%	13.3%	-
⑥人権相談や電話相談を充実する	13.0%	13.3%	-
⑦その他	3.3%	2.2%	-
⑧特になし	8.4%	5.0%	-

問 12 あなたは、男女が共に仕事と家庭を両立できる社会を目指すために特に必要なことはどのようなことだと思いますか。 【〇は3つ以内】

■全体

「育児や介護のために仕事を休める制度を充実する」が 71.8%と最も高く、次いで「子育て・介護等のサポート体制を充実する」56.7%、「事業者（雇用主）等に向けた意識啓発」31.0%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①育児や介護のために仕事を休める制度を充実する	547	69.5%	71.8%
②長時間労働の削減	227	28.8%	29.8%
③有給休暇の取得を推進する	225	28.6%	29.5%
④子育て・介護等のサポート体制を充実する	432	54.9%	56.7%
⑤事業者（雇用主）等に向けた意識啓発	236	30.0%	31.0%
⑥放課後児童クラブ・子ども会などの制度の拡充を行う	179	22.7%	23.5%
⑦その他	26	3.3%	3.4%
⑧特にない	26	3.3%	3.4%
<無回答>	25	3.2%	
合計	787	100.0%	762



【参考】高知県調査

育児や介護休業制度の取得しやすい環境を推進する 73.0%、

■年代別

各年代において、「育児や介護のために仕事を休める制度を充実する」が最も高くなっている。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	44人	75人	107人	109人	161人	264人
①育児や介護のために仕事を休める制度を充実する	72.7%	70.7%	59.8%	75.2%	76.4%	72.7%
②長時間労働の削減	45.5%	37.3%	24.3%	24.8%	28.6%	29.9%
③有給休暇の取得を推進する	31.8%	26.7%	25.2%	29.4%	32.3%	29.9%
④子育て・介護等のサポート体制を充実する	61.4%	57.3%	53.3%	67.0%	60.9%	50.4%
⑤事業者（雇用主）等に向けた意識啓発	15.9%	36.0%	29.0%	34.9%	33.5%	29.5%
⑥放課後児童クラブ・子ども会などの制度の拡充を行う	22.7%	21.3%	36.4%	22.0%	18.6%	22.3%
⑦その他	2.3%	5.3%	9.3%	3.7%	3.1%	0.8%
⑧特になし	4.5%	-	2.8%	1.8%	0.6%	6.8%

■性別

「育児や介護のために仕事を休める制度を充実する」がそれぞれ最も高くなっている。

	男性	女性	回答したくない
合計	296人	459人	5人
①育児や介護のために仕事を休める制度を充実する	71.3%	72.3%	60.0%
②長時間労働の削減	29.7%	30.1%	20.0%
③有給休暇の取得を推進する	23.6%	33.6%	20.0%
④子育て・介護等のサポート体制を充実する	57.1%	56.6%	40.0%
⑤事業者（雇用主）等に向けた意識啓発	30.1%	31.2%	60.0%
⑥放課後児童クラブ・子ども会などの制度の拡充を行う	17.2%	27.5%	40.0%
⑦その他	4.4%	2.8%	-
⑧特になし	4.7%	2.4%	-

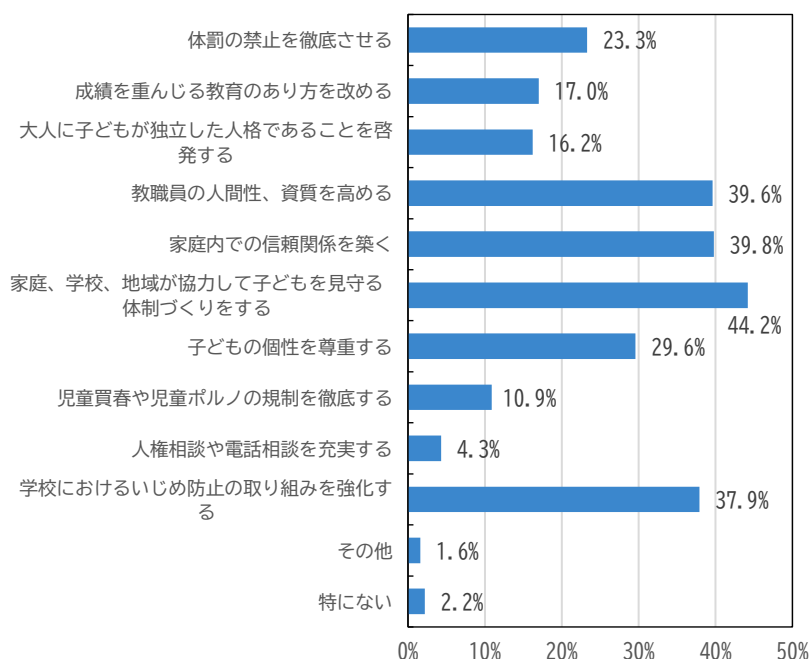
(5) 子どもの人権について

問 13 あなたは、子どもの人権を守るために特に必要なことはどのようなことだと思いますか。 【〇は3つ以内】

■全体

「家庭、学校、地域が協力して子どもを見守る体制作りをする」が 44.2%と最も高く、次いで「家庭内での信頼関係を築く」39.8%、「教職員の人間性、資質を高める」39.6%、「学校におけるいじめ防止の取り組みを強化する」37.9%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①体罰の禁止を徹底させる	180	22.9%	23.3%
②成績を重んじる教育のあり方を改める	131	16.6%	17.0%
③大人に子どもが独立した人格であることを啓発する	125	15.9%	16.2%
④教職員の人間性、資質を高める	305	38.8%	39.6%
⑤家庭内での信頼関係を築く（子どもが安心できる環境をつくる）	307	39.0%	39.8%
⑥家庭、学校、地域が協力して子どもを見守る体制づくりをする	341	43.3%	44.2%
⑦子どもの個性を尊重する	228	29.0%	29.6%
⑧児童買春や児童ポルノの規制を徹底する	84	10.7%	10.9%
⑨人権相談や電話相談を充実する	33	4.2%	4.3%
⑩学校におけるいじめ防止の取り組みを強化する	292	37.1%	37.9%
⑪その他	12	1.5%	1.6%
⑫特にない	17	2.2%	2.2%
<無回答>	16	2.0%	
合計	787	100.0%	771



【参考】高知県調査

子育てに地域ぐるみでかかわる機運を育む 22.1%
 家庭内の人間関係を安定させる 18.6%、
 教師の人間性、資質を高める 26.4%

■年代別

10歳・20歳代、30歳代は「家庭内での信頼関係を築く(子どもが安心できる環境をつくる)」、40歳代・50歳以上は「家庭、学校、地域が協力して子どもを見守る体制づくりをする」、60歳代、70歳以上は「教職員の人間性、資質を高める」がそれぞれ最も高くなっている。

	10歳・ 20歳代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 以上
合計	45人	75人	107人	112人	164人	266人
①体罰の禁止を徹底させる	13.3%	13.3%	14.0%	17.9%	22.6%	34.6%
②成績を重んじる教育のあり方を改める	8.9%	6.7%	18.7%	16.1%	15.9%	21.4%
③大人に子どもが独立した人格であることを啓発する	26.7%	13.3%	20.6%	16.1%	18.9%	12.0%
④教職員の人間性、資質を高める	40.0%	26.7%	31.8%	38.4%	47.6%	42.1%
⑤家庭内での信頼関係を築く(子どもが安心できる環境をつくる)	62.2%	56.0%	39.3%	39.3%	39.6%	32.0%
⑥家庭、学校、地域が協力して子どもを見守る体制づくりをする	37.8%	46.7%	56.1%	49.1%	40.9%	39.5%
⑦子どもの個性を尊重する	35.6%	37.3%	28.0%	31.3%	25.0%	28.6%
⑧児童買春や児童ポルノの規制を徹底する	2.2%	17.3%	17.8%	8.9%	11.6%	8.3%
⑨人権相談や電話相談を充実する	2.2%	1.3%	4.7%	0.9%	5.5%	6.0%
⑩学校におけるいじめ防止の取り組みを強化する	26.7%	29.3%	29.0%	48.2%	43.9%	38.0%
⑪その他	4.4%	4.0%	3.7%	0.9%	1.2%	-
⑫特にない	2.2%	1.3%	0.9%	1.8%	1.2%	3.8%

■性別

男性は「教職員の人間性、資質を高める」41.7%、女性は「家庭、学校、地域が協力して子どもを見守る体制づくりをする」46.8%とそれぞれ最も高くなっている。

	男性	女性	回答したくない
合計	300人	464人	5人
①体罰の禁止を徹底させる	27.0%	21.3%	-
②成績を重んじる教育のあり方を改める	16.3%	17.7%	-
③大人に子どもが独立した人格であることを啓発する	14.7%	17.0%	20.0%
④教職員の人間性、資質を高める	41.7%	38.6%	20.0%
⑤家庭内での信頼関係を築く(子どもが安心できる環境づくり)	36.0%	42.2%	40.0%
⑥家庭、学校、地域が協力し子どもを見守る体制づくりをする	39.7%	46.8%	80.0%
⑦子どもの個性を尊重する	28.3%	30.4%	-
⑧児童買春や児童ポルノの規制を徹底する	8.3%	12.5%	20.0%
⑨人権相談や電話相談を充実する	4.3%	4.3%	-
⑩学校におけるいじめ防止の取り組みを強化する	39.7%	36.9%	40.0%
⑪その他	1.7%	1.5%	-
⑫特にない	3.3%	1.5%	-

(6) 同和問題(部落差別問題)について

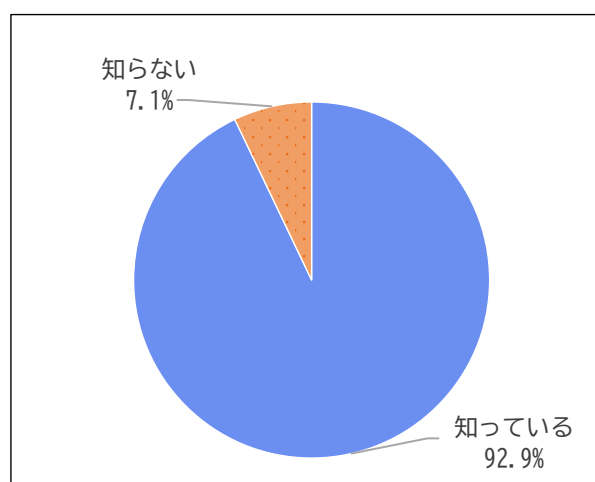
問 14 あなたは同和問題について知っていますか。

【いずれかに○】

■全体

「知っている」が92.9%、「知らない」が7.1%であった。

カテゴリ	件数	全体	無回答 除外
①知っている	704	89.4%	92.9%
②知らない	54	6.9%	7.1%
<無回答>	29	3.7%	
合計	787	100.0%	758



【参考】高知県調査

知っている 92.2%、知らない 2.1%

■年代別

「知っている」が全ての年代で高くなっている。一方「知らない」も全ての年代で一定数確認できる。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	45人	75人	106人	110人	162人	258人
①知っている	82.2%	89.3%	95.3%	94.5%	96.3%	91.9%
②知らない	17.8%	10.7%	4.7%	5.5%	3.7%	8.1%

■性別

「知っている」がそれぞれ90%を超え高くなっている。

	男性	女性	回答したくない
合計	296人	455人	5人
①知っている	91.9%	93.4%	100.0%
②知らない	8.1%	6.6%	-

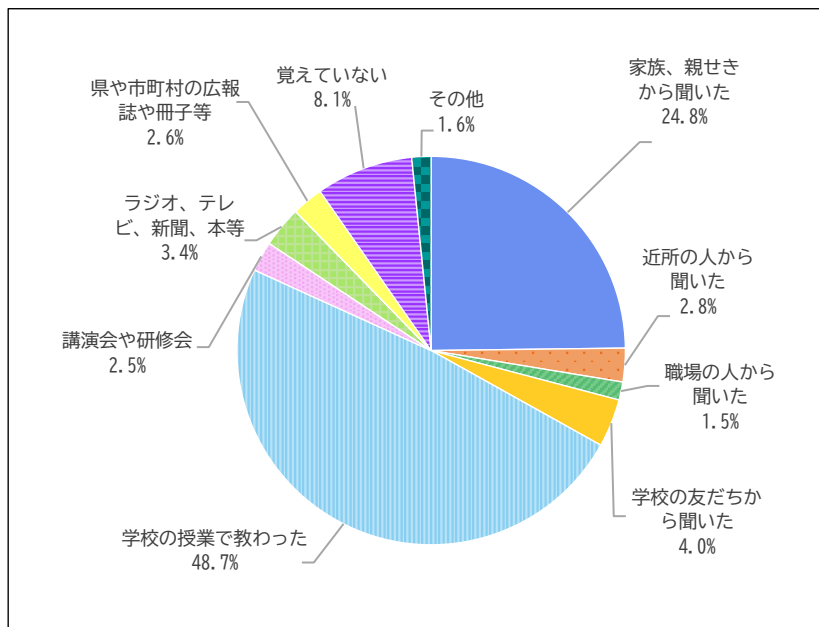
(問14で「知っている」と答えた方にお聞きします。)

問 15 あなたが同和問題について初めて知ったきっかけは何ですか。【1つに○】

■全体

「学校の授業で教わった」が 48.7%と最も高く、次いで「家族、親せきから聞いた」24.8%、「覚えていない」8.1%、「学校の友だちから聞いた」4.0%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答 除外
①家族、親せきから聞いた	170	24.1%	24.8%
②近所の人から聞いた	19	2.7%	2.8%
③職場の人から聞いた	10	1.4%	1.5%
④学校の友だちから聞いた	27	3.8%	4.0%
⑤学校の授業で教わった	332	47.2%	48.7%
⑥講演会や研修会	17	2.4%	2.5%
⑦ラジオ、テレビ、新聞、本等	23	3.3%	3.4%
⑧インターネット	0	0.0%	0.0%
⑨県や市町村の広報誌や冊子等	18	2.6%	2.6%
⑩覚えていない	55	7.8%	8.1%
⑪その他	11	1.6%	1.6%
<無回答>	22	3.1%	
合計	704	100.0%	682



【参考】高知県調査

学校の授業で教わった
37.5%

家族から聞いた 24.5%

親戚の人から聞いた 1.4%

覚えていない 10.7%

学校の友だちから聞いた
7.8%

■年代別

70歳以上は「家族、親せきから聞いた」、その他の年代では「学校の授業で教わった」が最も高くなっている。一方、「家族、親せきから聞いた」も各年代で一定数確認できる。

	10歳・ 20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳 以上
合計	35人	67人	99人	102人	153人	224人
①家族、親せきから聞いた	20.0%	11.9%	12.2%	16.6%	31.3%	34.8%
②近所の人から聞いた	-	-	1.0%	-	1.3%	7.1%
③職場の人から聞いた	-	4.5%	-	-	0.7%	2.7%
④学校の友だちから聞いた	-	1.5%	2.0%	1.0%	7.2%	4.9%
⑤学校の授業で教わった	71.3%	79.1%	80.8%	81.4%	40.5%	12.5%
⑥講演会や研修会	2.9%	1.5%	1.0%	-	3.3%	4.0%
⑦ラジオ、テレビ、新聞、本等	2.9%	-	1.0%	-	2.6%	7.6%
⑧インターネット	-	-	-	-	-	-
⑨県や市町村の広報誌や冊子等	-	-	-	-	2.6%	6.3%
⑩覚えていない	2.9%	1.5%	2.0%	-	8.5%	17.0%
⑪その他	-	-	-	1.0%	2.0%	3.1%

■性別

「学校の授業で教わった」がそれぞれ最も高くなっている。

	男性	女性	回答したくない
合計	264人	411人	5人
①家族、親せきから聞いた	25.4%	25.1%	-
②近所の人から聞いた	3.0%	2.7%	-
③職場の人から聞いた	3.0%	0.5%	-
④学校の友だちから聞いた	4.5%	3.4%	-
⑤学校の授業で教わった	43.2%	51.8%	100.0%
⑥講演会や研修会	2.3%	2.4%	-
⑦ラジオ、テレビ、新聞、本等	3.8%	3.2%	-
⑧インターネット	-	-	-
⑨県や市町村の広報誌や冊子等	3.8%	1.9%	-
⑩覚えていない	10.2%	6.8%	-
⑪その他	0.8%	2.2%	-

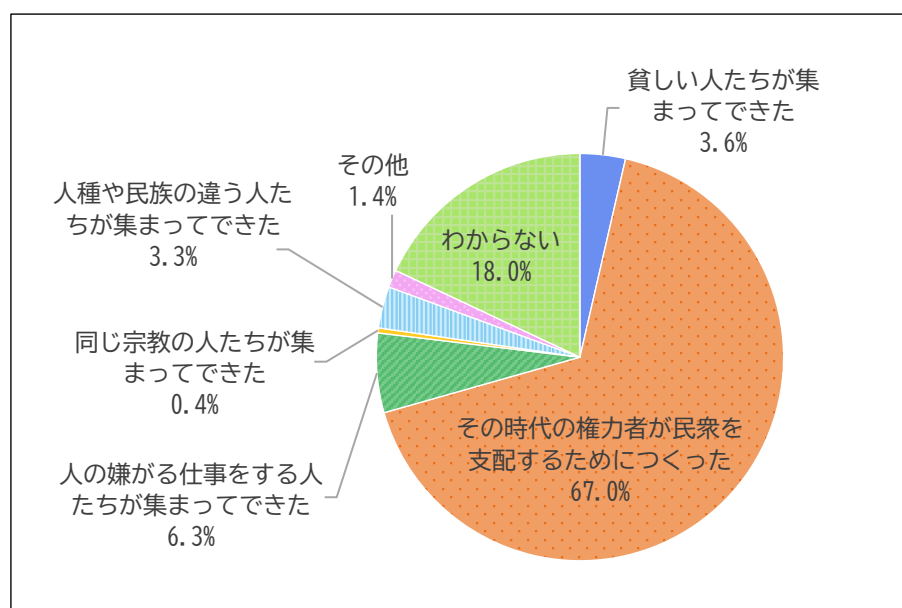
問 16 同和地区はどのようにしてできたとお考えですか。

【1つに○】

■全体

「その時代の権力者が民衆を支配するためにつくった」が 67.0%と最も高く、次いで「わからない」18.0%、「人の嫌がる仕事をする人たちが集まってできた」6.3%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
① 貧しい人たちが集まってできた	24	3.4%	3.6%
② その時代の権力者が民衆を支配するためにつくった	464	65.9%	67.0%
③ 人の嫌がる仕事をする人たちが集まってできた	44	6.3%	6.3%
④ 同じ宗教の人たちが集まってできた	3	0.4%	0.4%
⑤ 人種や民族の違う人たちが集まってできた	23	3.3%	3.3%
⑥ その他	10	1.4%	1.4%
⑦ わからない	125	17.8%	18.0%
<無回答>	11	1.5%	
合計	704	100.0%	693



■年代別

「その時代の権力者が民衆を支配するためにつくった」が全ての年代で最も高くなっている。また、10歳・20歳代で「人の嫌がる仕事をする人たちが集まってできた」が18.9%と他の年代に比べ高くなっている。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	37人	67人	97人	104人	152人	234人
①貧しい人たちが集まってできた	5.4%	7.5%	4.1%	1.9%	2.6%	3.1%
②その時代の権力者が民衆を支配するためにつくった	54.1%	50.7%	66.0%	75.1%	74.3%	65.4%
③人の嫌がる仕事をする人たちが集まってできた	18.9%	11.9%	4.1%	3.8%	5.9%	5.1%
④同じ宗教の人たちが集まってできた	2.7%	-	1.0%	-	-	0.4%
⑤人種や民族の違う人たちが集まってできた	-	4.5%	2.1%	3.8%	3.3%	3.8%
⑥その他	2.7%	1.5%	3.1%	2.9%	0.7%	0.4%
⑦わからない	16.2%	23.9%	19.6%	12.5%	13.2%	21.8%

■性別

「その時代の権力者が民衆を支配するためにつくった」がそれぞれ最も高くなっている。

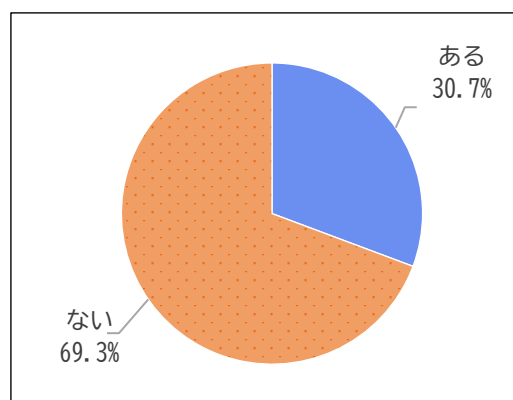
	男性	女性	回答したくない
合計	269人	417人	5人
①貧しい人たちが集まってできた	3.6%	3.4%	-
②その時代の権力者が民衆を支配するためにつくった	67.3%	66.5%	60.0%
③人の嫌がる仕事をする人たちが集まってできた	6.3%	6.5%	-
④同じ宗教の人たちが集まってできた	0.4%	0.5%	-
⑤人種や民族の違う人たちが集まってできた	3.0%	3.4%	20.0%
⑥その他	1.9%	1.0%	20.0%
⑦わからない	17.5%	18.7%	-

問 17 あなたは、同和地区ということに気がしたり、意識したりすることがありますか。 【いずれかに○】

■全体

「ない」が 69.3%、「ある」が 30.7%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答 除外
①ある	214	30.4%	30.7%
②ない	482	68.5%	69.3%
<無回答>	8	1.1%	
合計	704	100.0%	696



【参考】高知県調査

ない 55.3%

■年代別

「ない」が各年代で高くなってはいるが、「ある」が各年代で一定数確認でき、50歳代～70歳以上では30%を超え高くなっている。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	37人	67人	101人	104人	152人	233人
①ある	10.8%	17.9%	27.7%	30.8%	38.8%	33.9%
②ない	89.2%	82.1%	72.3%	69.2%	61.2%	66.1%

■性別

「ある」が男性 35.1%、女性 28.0%となっている。

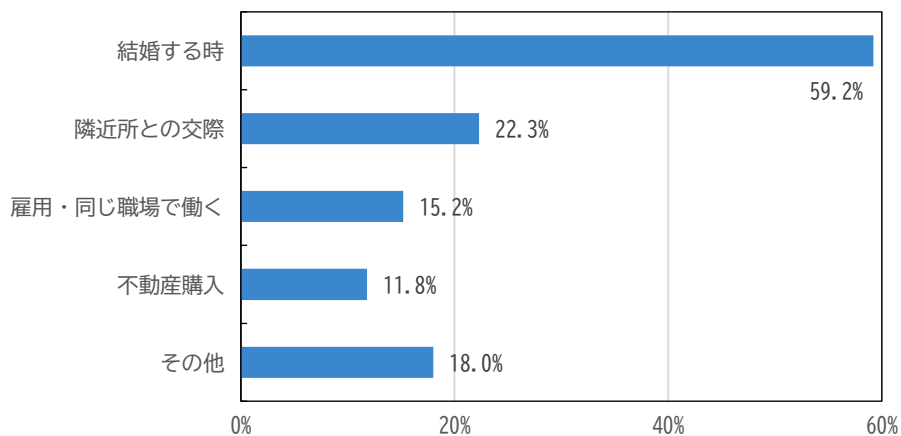
	男性	女性	回答したくない
合計	271人	418人	5人
①ある	35.1%	28.0%	40.0%
②ない	64.9%	72.0%	60.0%

問17-1 問17で「ある」とお答えいただいた方に質問します。どのようなときに気にしたり意識したりすることがありますか。 【〇はいくつでも】

■全体

「結婚する時」が 59.2%で最も高く、県の調査と比較しても高くなっている。次いで、「交際の時」22.3%、「その他」18.0%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①結婚する時	125	58.4%	59.2%
②隣近所との交際	47	22.0%	22.3%
③雇用・同じ職場で働く	32	15.0%	15.2%
④不動産購入	25	11.7%	11.8%
⑤その他	38	17.8%	18.0%
<無回答>	3	1.4%	
合計	214	100.0%	211



【参考】高知県調査

結婚する時 27.2%、その他 3.1%

■年代別

すべての年代において「結婚する時」が最も高くなっている。30歳代のみ同率で「不動産購入」が高くなっている

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	4人	12人	26人	32人	59人	78人
①結婚する時	50.0%	25.0%	42.3%	50.0%	69.5%	66.7%
②隣近所との交際	-	8.3%	30.8%	9.4%	20.3%	29.5%
③雇用・同じ職場で働く	-	16.7%	23.1%	15.6%	11.9%	15.4%
④不動産購入	-	25.0%	23.1%	12.5%	10.2%	7.7%
⑤その他	50.0%	41.7%	34.6%	28.1%	11.9%	7.7%

■性別

「結婚する時」がそれぞれ最も高くなっている。

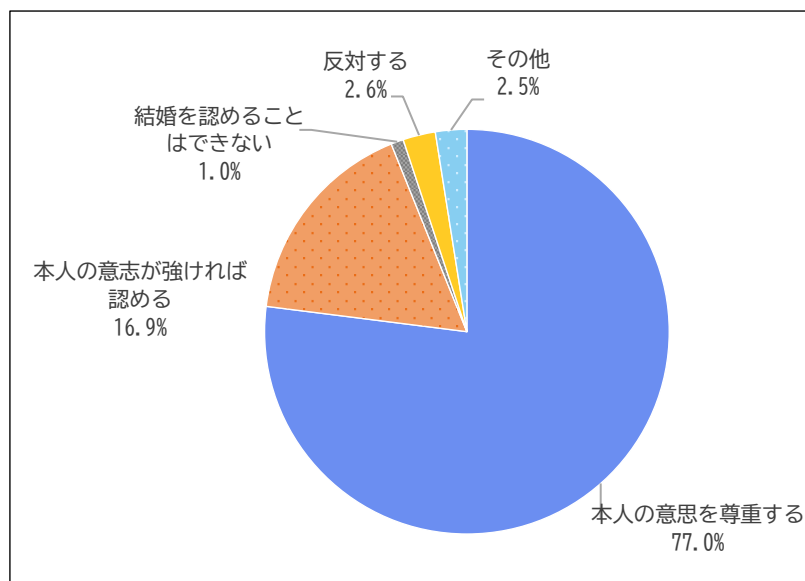
	男性	女性	回答したくない
合計	93人	116人	2人
①結婚する時	54.8%	62.9%	50.0%
②隣近所との交際	22.6%	22.4%	-
③雇用・同じ職場で働く	16.1%	14.7%	-
④不動産購入	7.5%	14.7%	50.0%
⑤その他	19.4%	17.2%	-

問 18 あなたの親族が結婚しようとしている相手が同和地区出身だとわかった場合、あなたはどうされますか。 【1つに〇】

■全体

「本人の意思を尊重する」が 77.0%と最も高く、次いで「本人の意思が強ければ認める」16.9%、「反対する」2.6%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①本人の意思を尊重する	529	75.1%	77.0%
②反対はするが、本人の意志が強ければ認める	116	16.5%	16.9%
③家族や親せきに反対する者がいれば、結婚を認めることはできない	7	1.0%	1.0%
④反対する	18	2.6%	2.6%
⑤その他	17	2.4%	2.5%
<無回答>	17	2.4%	
合計	704	100.0%	687



【参考】高知県調査

設問 お子さんが結婚しようとしている相手が、同和地区の人だと分かった場合、あなたはどうしますか。

子どもの意思を尊重する 48.8%、
 親としては反対するが、子どもの意思が強ければ認める 20.6%、
 絶対に結婚を認めない 4.1%

■年代別

各年代において「本人の意思を尊重する」が最も高くなっている。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	37人	65人	101人	104人	150人	228人
①本人の意思を尊重する	89.2%	89.2%	79.2%	76.0%	76.6%	71.4%
②反対はするが、本人の意志が強ければ認める	5.4%	6.2%	16.8%	15.4%	18.7%	21.1%
③家族や親せきに反対する者がいれば、結婚を認めることはできない	-	-	1.0%	1.9%	0.7%	1.3%
④反対する	-	1.5%	1.0%	1.9%	2.7%	4.4%
⑤その他	5.4%	3.1%	2.0%	4.8%	1.3%	1.8%

■性別

「本人の意思を尊重する」がそれぞれで最も高くなっている。

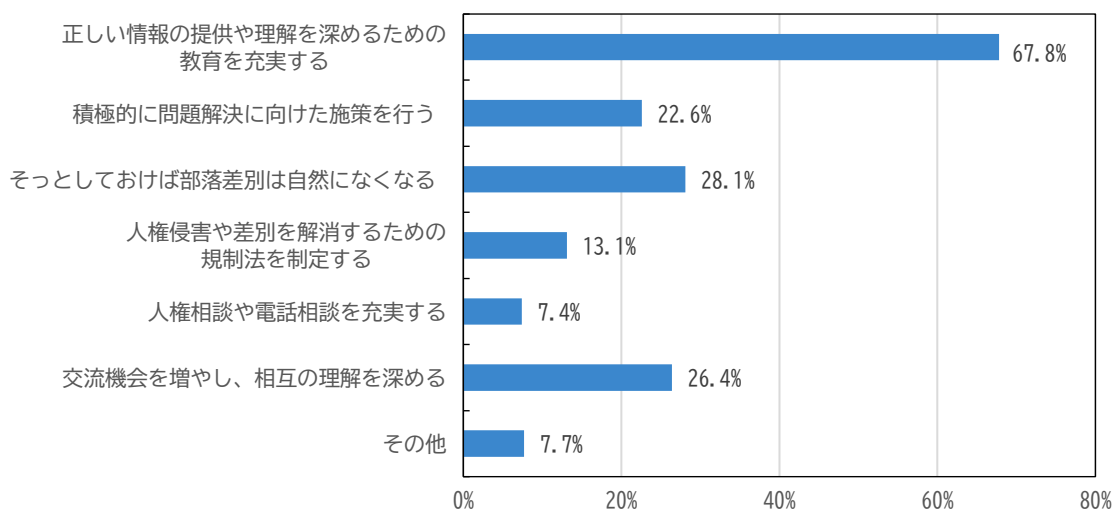
	男性	女性	回答したくない
合計	268人	412人	5人
①本人の意思を尊重する	74.7%	78.4%	80.0%
②反対はするが、本人の意志が強ければ認める	18.7%	15.8%	20.0%
③家族や親せきに反対する者がいれば、結婚を認めることはできない	0.7%	1.2%	-
④反対する	3.7%	1.9%	-
⑤その他	2.2%	2.7%	-

問 19 あなたは、同和問題を解決するためには、特にどのようなことが大切だと思いますか。 【〇は3つ以内】

■全体

「正しい情報の提供や理解を深めるための教育を充実する」が67.8%と最も高い。次いで「そっとしておけば部落差別は自然になくなる」28.1%、「交流の機会を増やし、相互の理解を深める」26.4%であった。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①同和問題に対する正しい情報の提供や理解を深めるための教育を充実する	465	66.1%	67.8%
②行政の主体性を確立し、積極的に問題解決に向けた施策を行う	155	22.0%	22.6%
③「同和地区」のことなど口に出さず、そっとしておけば部落差別は自然になくなる	193	27.4%	28.1%
④人権侵害や差別を解消するための規制法を制定する	90	12.8%	13.1%
⑤人権相談や電話相談を充実する	51	7.2%	7.4%
⑥交流機会を増やし、相互の理解を深める	181	25.7%	26.4%
⑦その他	53	7.5%	7.7%
<無回答>	18	2.6%	
合計	704	100.0%	686



【参考】高知県調査

(単一回答)

同和地区に対する正しい理解を深め人権を守るための教育・啓発活動を推進する 37.2%
 同和地区のことなど口に出さず、そっとしておけば部落差別は自然になくなる 29.0%、

■年代別

各年代において「同和問題に対する正しい情報の提供や理解を深めるための教育を充実する」が最も高くなっている。一方「同和地区」のことなど口に出さず、そっとしておけば部落差別は自然になくなる」も各年代で一定数確認できる。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	37人	65人	99人	103人	151人	230人
①同和問題に対する正しい情報の提供や理解を深めるための教育を充実する	67.6%	66.2%	61.6%	62.1%	76.8%	67.4%
②行政の主体性を確立し、積極的に問題解決に向けた施策を行う	16.2%	12.3%	20.2%	23.3%	25.8%	25.2%
③「同和地区」のことなど口に出さず、そっとしておけば部落差別は自然になくなる	35.1%	29.2%	30.3%	28.2%	19.9%	31.3%
④人権侵害や差別を解消するための規制法を制定する	8.1%	15.4%	13.1%	12.6%	12.6%	13.9%
⑤人権相談や電話相談を充実する	2.7%	7.7%	7.1%	5.8%	9.9%	7.4%
⑥交流機会を増やし、相互の理解を深める	27.0%	18.5%	22.2%	19.4%	27.8%	32.2%
⑦その他	10.8%	6.2%	14.1%	9.7%	7.9%	3.9%

■性別

「同和問題に対する正しい情報の提供や理解を深めるための教育を充実する」がそれぞれ最も高くなっている。

	男性	女性	回答したくない
合計	264人	416人	4人
①同和問題に対する正しい情報の提供や理解を深めるための教育を充実する	61.0%	71.9%	75.0%
②行政の主体性を確立し、積極的に問題解決に向けた施策を行う	20.8%	23.6%	50.0%
③「同和地区」のことなど口に出さず、そっとしておけば部落差別は自然になくなる	31.8%	26.0%	25.0%
④人権侵害や差別を解消するための規制法を制定する	11.7%	13.9%	25.0%
⑤人権相談や電話相談を充実する	10.2%	5.8%	-
⑥交流機会を増やし、相互の理解を深める	24.6%	27.4%	25.0%
⑦その他	9.1%	7.0%	-

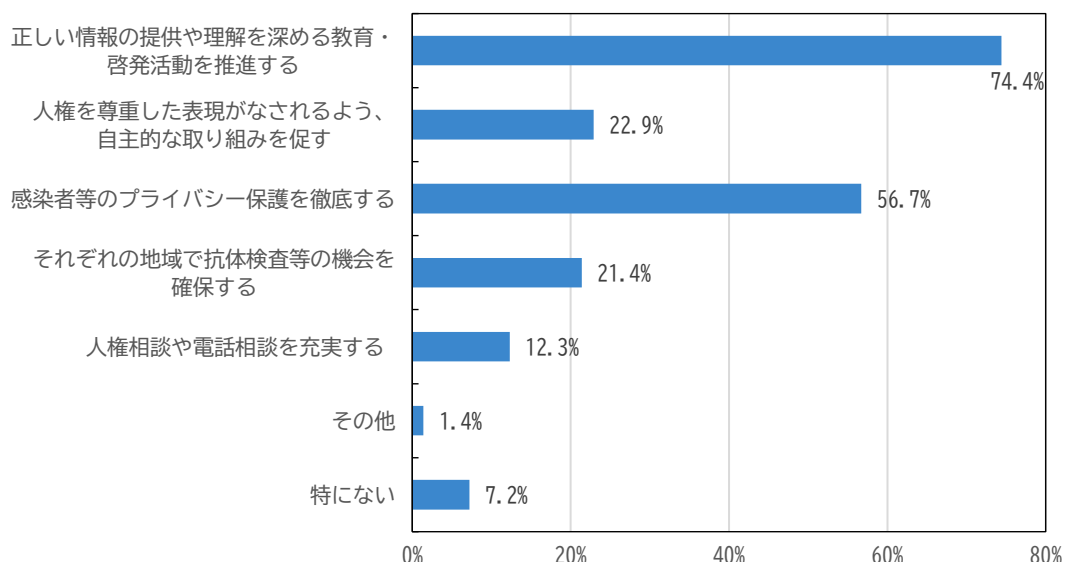
(7) HIV 感染者等の人権について

問 20 あなたは、HIV 感染者等の人権を守るために特に必要なことはどのようなことだと思いますか。 【〇は 3 つ以内】

■全体

「正しい情報の提供や理解を深める教育・啓発活動を推進する」が 74.4%で最も高く、次いで「感染者等のプライバシー保護を徹底する」56.7%、「人権を尊重した表現がなされるよう、自主的な取り組みを促す」22.9%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①感染者等について正しい情報の提供や理解を深める教育・啓発活動を推進する	568	72.2%	74.4%
②感染者等の人権を尊重した表現がなされるよう、テレビ・雑誌・インターネット等メディアの自主的な取り組みを促す	175	22.2%	22.9%
③感染者等のプライバシー保護を徹底する	433	55.0%	56.7%
④それぞれの地域で抗体検査等の機会を確保する	163	20.7%	21.4%
⑤人権相談や電話相談を充実する	94	11.9%	12.3%
⑥その他	11	1.4%	1.4%
⑦特にない	55	7.0%	7.2%
<無回答>	24	3.0%	
合計	787	100.0%	763



【参考】高知県調査

正しい情報の提供や理解を深める教育・啓発活動を推進する 61.8%、感染者等のプライバシー保護を徹底する 35.5%、

■年代別

各年代において「感染者等について正しい情報の提供や理解を深める教育教育・啓発活動を推進する」が最も高くなっている。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	45人	75人	107人	112人	160人	262人
①感染者等について正しい情報の提供や理解を深める教育・啓発活動を推進する	73.3%	78.7%	81.3%	74.1%	76.3%	69.8%
②感染者等の人権を尊重した表現がなされるよう、テレビ・雑誌・インターネット等メディアの自主的な取り組みを促す	22.2%	12.0%	19.6%	24.1%	23.8%	26.0%
③感染者等のプライバシー保護を徹底する	71.1%	58.7%	52.3%	64.3%	57.5%	51.5%
④それぞれの地域で抗体検査等の機会を確保する	33.3%	22.7%	22.4%	21.4%	21.9%	18.3%
⑤人権相談や電話相談を充実する	4.4%	6.7%	15.9%	8.9%	13.1%	14.9%
⑥その他	-	2.7%	1.9%	3.6%	0.6%	0.8%
⑦特にない	2.2%	2.7%	4.7%	4.5%	5.6%	12.6%

■性別

「感染者等について正しい情報の提供や理解を深める教育教育・啓発活動を推進する」がそれぞれ最も高くなっている。

	男性	女性	回答したくない
合計	300人	456人	5人
①感染者等について正しい情報の提供や理解を深める教育・啓発活動を推進する	70.7%	76.8%	100.0%
②感染者等の人権を尊重した表現がなされるよう、テレビ・雑誌・インターネット等メディアの自主的な取り組みを促す	17.7%	26.5%	-
③感染者等のプライバシー保護を徹底する	51.3%	60.1%	80.0%
④それぞれの地域で抗体検査等の機会を確保する	22.3%	20.8%	20.0%
⑤人権相談や電話相談を充実する	14.0%	11.0%	40.0%
⑥その他	2.0%	1.1%	-
⑦特にない	9.3%	5.7%	-

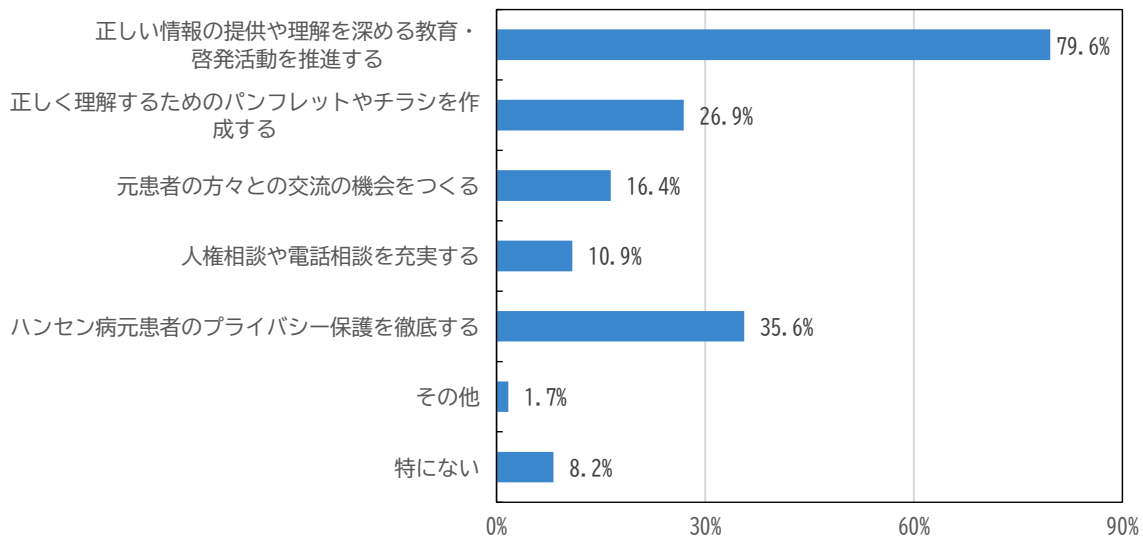
(8) ハンセン病元患者等の人権について

問 21 あなたは、ハンセン病元患者等の人権を守るために特に必要なことはどのようなことだと思いますか。 【〇は3つ以内】

■全体

「正しい情報の提供や理解を深める教育・啓発活動を推進する」が 79.6%で最も高く、次いで「ハンセン病元患者等のプライバシー保護を徹底する」35.6%、「正しく理解するためのパンフレットやチラシを作成する」26.9%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①ハンセン病の正しい情報の提供や理解を深める教育・啓発活動を推進する	603	76.6%	79.6%
②ハンセン病を正しく理解するためのパンフレットやチラシを作成する	204	25.9%	26.9%
③ハンセン病への理解を深めるため元患者の方々との交流の機会をつくる	124	15.8%	16.4%
④人権相談や電話相談を充実する	83	10.5%	10.9%
⑤ハンセン病元患者のプライバシー保護を徹底する	270	34.3%	35.6%
⑥その他	13	1.7%	1.7%
⑦特にない	62	7.9%	8.2%
<無回答>	29	3.7%	
合計	787	100.0%	758



【参考】高知県調査

正しい情報の提供や理解を深める教育・啓発活動を推進する 60.4%

正しく理解するためのパンフレットやチラシを作成する 20.4%となっている。

■年代別

各年代において「ハンセン病の正しい情報の提供や理解を深める教育・啓発活動を推進する」が最も高くなっている。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	45人	73人	107人	111人	160人	260人
①ハンセン病の正しい情報の提供や理解を深める教育・啓発活動を推進する	86.7%	80.8%	82.2%	84.7%	80.0%	74.2%
②ハンセン病を正しく理解するためのパンフレットやチラシを作成する	37.8%	21.9%	15.0%	35.1%	28.8%	26.5%
③ハンセン病への理解を深めるため元患者の方々との交流の機会をつくる	15.6%	8.2%	23.4%	14.4%	14.4%	17.3%
④人権相談や電話相談を充実する	4.4%	9.6%	8.4%	5.4%	12.5%	15.0%
⑤ハンセン病元患者のプライバシー保護を徹底する	35.6%	41.1%	34.6%	34.2%	37.5%	34.2%
⑥その他	-	4.1%	2.8%	1.8%	1.3%	1.2%
⑦特にない	4.4%	2.7%	5.6%	4.5%	8.1%	13.1%

■性別

「ハンセン病の正しい情報の提供や理解を深める教育・啓発活動を推進する」がそれぞれで最も高くなっている。

	男性	女性	回答したくない
合計	298人	453人	5人
①ハンセン病の正しい情報の提供や理解を深める教育・啓発活動を推進する	76.8%	81.5%	80.0%
②ハンセン病を正しく理解するためのパンフレットやチラシを作成する	26.8%	27.2%	20.0%
③ハンセン病への理解を深めるため元患者の方々との交流の機会をつくる	17.1%	15.9%	-
④人権相談や電話相談を充実する	11.7%	10.6%	-
⑤ハンセン病元患者のプライバシー保護を徹底する	30.9%	39.1%	20.0%
⑥その他	2.7%	1.1%	-
⑦特にない	10.1%	6.8%	-

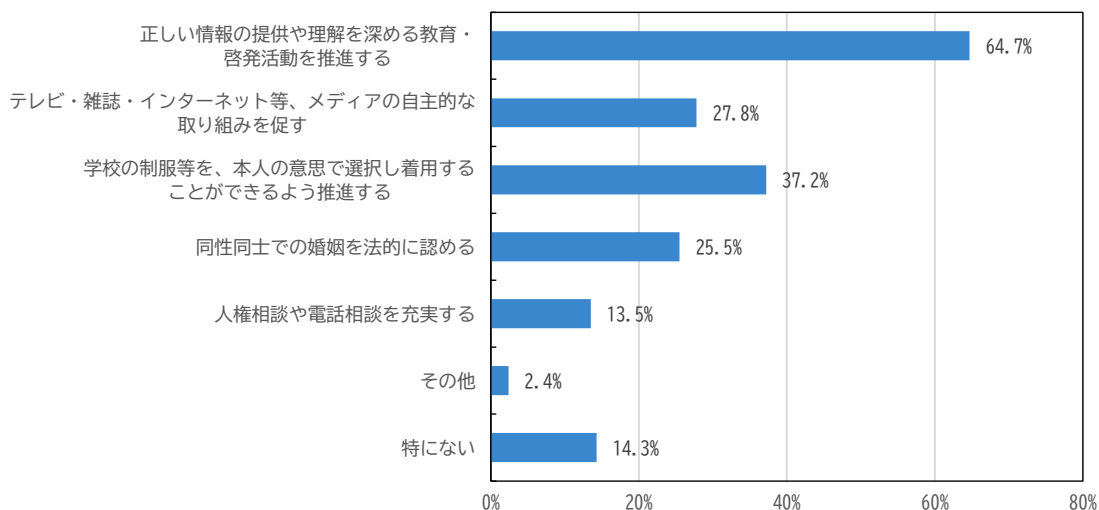
(9) LGBTQ の人権(性自認・性の多様性)について

問 22 あなたは、LGBTQ の人権を守るために特に必要なことはどのようなことだと思いますか。 【〇は3つ以内】

■全体

「正しい情報の提供や理解を深める教育・啓発活動を推進する」が 64.7%で最も高く、次いで「学校の制服等を、本人の意思で選択肢着用することができるよう推進する」37.2%、「テレビ・雑誌・インターネット等、メディアの自主的な取り組みを促す」27.8%、「同性同士での婚姻を法的に認める」25.5%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①LGBTQ についての正しい情報の提供や理解を深める教育・啓発活動を推進する	480	61.0%	64.7%
②LGBTQ の人権を尊重した表現がなされるよう、テレビ・雑誌・インターネット等、メディアの自主的な取り組みを促す	206	26.2%	27.8%
③学校の制服等を、生まれ持ったの性別ではなく、本人の意思で選択し着用することができるよう推進する	276	35.1%	37.2%
④同性同士での婚姻を法的に認める	189	24.0%	25.5%
⑤人権相談や電話相談を充実する	100	12.7%	13.5%
⑥その他	18	2.3%	2.4%
⑦特にない	106	13.5%	14.3%
<無回答>	45	5.7%	
合計	787	100.0%	742



■年代別

各年代において「LGBTQ についての正しい情報の提供や理解を深める教育・啓発活動を推進する」が最も高くなっている。

また、10歳・20歳代で「学校の制服等を、生まれ持つての性別ではなく、本人の意思で選択し着用する」が60.0%と他の年代に比べ高くなっている。

	10歳・ 20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	45人	75人	107人	112人	158人	243人
①LGBTQ についての正しい情報の提供や理解を深める教育・啓発活動を推進する	75.6%	74.7%	72.0%	65.2%	61.4%	58.0%
②LGBTQ の人権を尊重した表現がなされるよう、テレビ・雑誌・インターネット等、メディアの自主的な取り組みを促す	22.2%	20.0%	16.8%	29.5%	32.3%	31.7%
③学校の制服等を、生まれ持つての性別ではなく、本人の意思で選択し着用することができるよう推進する	60.0%	53.3%	43.0%	47.3%	37.3%	21.0%
④同性同士での婚姻を法的に認める	42.2%	38.7%	33.6%	24.1%	20.9%	18.1%
⑤人権相談や電話相談を充実する	6.7%	8.0%	11.2%	9.8%	11.4%	20.6%
⑥その他	2.2%	1.3%	4.7%	4.5%	1.9%	1.2%
⑦特にない	6.7%	9.3%	8.4%	9.8%	14.6%	21.8%

■性別

「LGBTQ についての正しい情報の提供や理解を深める教育・啓発活動を推進する」がそれぞれで最も高くなっている。

	男性	女性	回答したくない
合計	290人	445人	5人
①LGBTQ についての正しい情報の提供や理解を深める教育・啓発活動を推進する	61.0%	67.2%	60.0%
②LGBTQ の人権を尊重した表現がなされるよう、テレビ・雑誌・インターネット等、メディアの自主的な取り組みを促す	25.9%	28.8%	40.0%
③学校の制服等を、生まれ持つての性別ではなく、本人の意思で選択し着用することができるよう推進する	27.9%	43.4%	40.0%
④同性同士での婚姻を法的に認める	23.1%	27.0%	40.0%
⑤人権相談や電話相談を充実する	14.1%	13.0%	20.0%
⑥その他	4.1%	1.3%	-
⑦特にない	20.0%	10.3%	20.0%

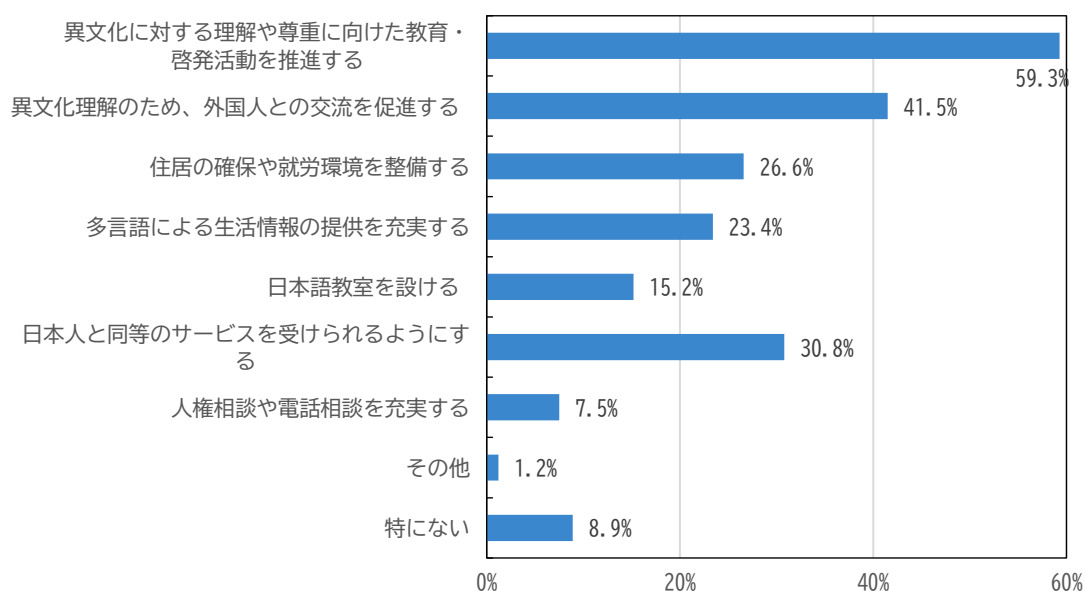
(10) 外国人の人権について

問 23 あなたは、外国人の人権を守るために特に必要なことはどのようなことだと思いますか。 【〇は3つ以内】

■全体

「異文化に対する理解や尊重に向けた教育・啓発活動を推進する」が 59.3%と最も高く、次いで「異文化理解のため、外国人との交流を促進する」41.5%、「日本人と同等のサービスを受けられるようにする」30.8%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①異文化に対する理解や尊重に向けた教育・啓発活動を推進する	449	57.1%	59.3%
②異文化理解のため、外国人との交流を促進する	314	39.9%	41.5%
③住居の確保や就労環境を整備する	201	25.5%	26.6%
④多言語による生活情報の提供を充実する	177	22.5%	23.4%
⑤日本語教室を設ける	115	14.6%	15.2%
⑥日本人と同等のサービスを受けられるようにする	233	29.6%	30.8%
⑦人権相談や電話相談を充実する	57	7.2%	7.5%
⑧その他	9	1.1%	1.2%
⑨特にない	67	8.5%	8.9%
<無回答>	30	3.8%	
合計	787	100.0%	757



【参考】高知県調査

異文化に対する理解や尊重に向けた教育・啓発活動を推進する 44.8%

異文化理解のため、外国人との交流を促進する 39.7%、

■年代別

各年代において「異文化に対する理解や尊重に向けた教育・啓発活動を推進する」が最も高くなっている。また、10歳・20歳代で「日本人と同等のサービスを受けられるようにする」が46.7%と他の年代に比べ高くなっている。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	45人	75人	107人	112人	159人	257人
①異文化に対する理解や尊重に向けた教育・啓発活動を推進する	57.8%	58.7%	61.7%	67.0%	57.2%	56.4%
②異文化理解のため、外国人との交流を促進する	44.4%	40.0%	49.5%	46.4%	44.0%	33.9%
③住居の確保や就労環境を整備する	31.1%	33.3%	23.4%	30.4%	29.6%	21.4%
④多言語による生活情報の提供を充実する	28.9%	30.7%	30.8%	27.7%	22.6%	15.6%
⑤日本語教室を設ける	17.8%	13.3%	15.9%	10.7%	13.8%	17.9%
⑥日本人と同等のサービスを受けられるようにする	46.7%	26.7%	25.2%	25.0%	37.1%	30.4%
⑦人権相談や電話相談を充実する	2.2%	2.7%	3.7%	4.5%	4.4%	14.8%
⑧その他	-	1.3%	2.8%	0.9%	1.3%	0.8%
⑨特にない	2.2%	4.0%	5.6%	8.0%	8.8%	13.2%

■性別

「異文化に対する理解や尊重に向けた教育・啓発活動を推進する」がそれぞれで最も高くなっている。

	男性	女性	回答したくない
合計	294人	456人	5人
①異文化に対する理解や尊重に向けた教育・啓発活動を推進する	56.5%	61.4%	40.0%
②異文化理解のため、外国人との交流を促進する	44.9%	38.8%	80.0%
③住居の確保や就労環境を整備する	23.5%	28.7%	20.0%
④多言語による生活情報の提供を充実する	18.4%	26.1%	60.0%
⑤日本語教室を設ける	15.6%	14.9%	20.0%
⑥日本人と同等のサービスを受けられるようにする	27.6%	33.1%	20.0%
⑦人権相談や電話相談を充実する	7.8%	7.5%	-
⑧その他	2.4%	0.4%	-
⑨特にない	11.9%	6.6%	20.0%

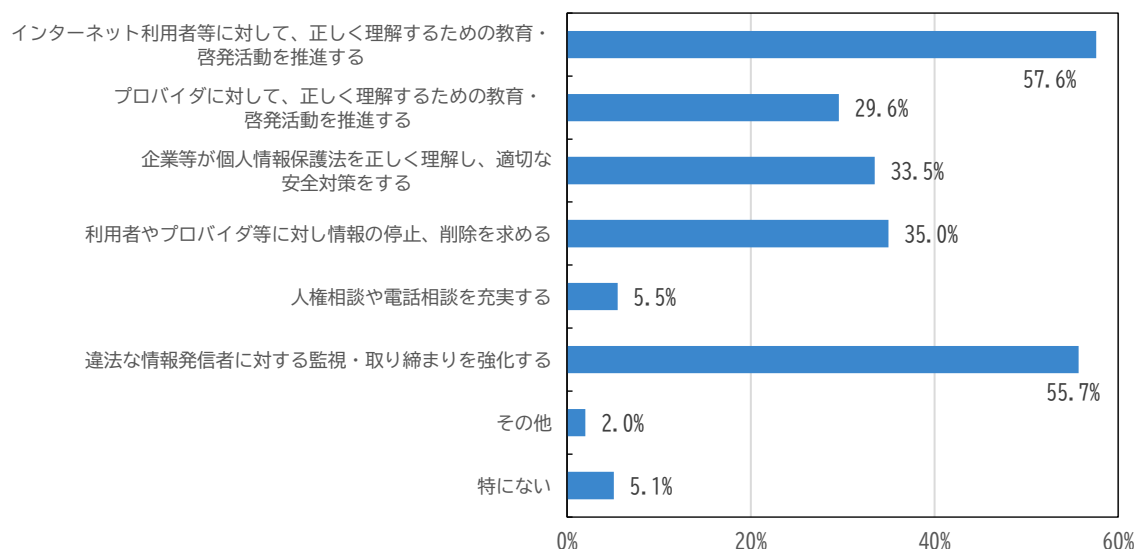
(11) インターネットによる人権侵害について

問 24 あなたは、インターネットによる人権侵害を解決するために特に必要なことはどのようなことだと思いますか。 【〇は3つ以内】

■全体

「インターネット利用者に対して、正しく理解するための教育・啓発活動を推進する」が57.6%と最も高く、次いで「違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する」55.7%、「利用者やプロバイダ等に対し情報の停止、削除を求める」35.0%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①インターネット利用者等に対して、個人のプライバシーや名誉に関し、正しく理解するための教育・啓発活動を推進する	428	54.4%	57.6%
②プロバイダ（インターネット接続業者）に対して、個人のプライバシーや名誉に関し、正しく理解するための教育・啓発活動を推進する	220	28.0%	29.6%
③企業等が個人情報保護法を正しく理解し、適切な安全対策をする	249	31.6%	33.5%
④利用者やプロバイダ等に対し情報の停止、削除を求める	260	33.0%	35.0%
⑤人権相談や電話相談を充実する	41	5.2%	5.5%
⑥違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する	414	52.6%	55.7%
⑦その他	15	1.9%	2.0%
⑧特にない	38	4.8%	5.1%
<無回答>	44	5.6%	
合計	787	100.0%	743



【参考】高知県調査

インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する 41.6%、違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する 56.5%、利用者やプロバイダ等に対し情報の停止、削除を求める 45.0%

■年代別

年代別で見ると、10歳・20歳代、30歳代、40歳代、70歳以上で「インターネット利用者に対して、個人のプライバシーや名誉に関し、正しく理解するための教育・啓発活動を推進する」、50歳代、60歳代、70歳以上で「違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する」が最も高くなっている。

	10歳・ 20歳代	30歳 代	40歳代	50歳代	60歳 代	70歳 以上
合計	45人	75人	104人	110人	160人	247人
①インターネット利用者等に対して、個人のプライバシーや名誉に関し、正しく理解するための教育・啓発活動を推進する	71.1%	64.0%	59.6%	59.1%	53.8%	54.3%
②プロバイダに対して、個人のプライバシーや名誉に関し、正しく理解するための教育・啓発活動を推進する	24.4%	13.3%	35.6%	33.6%	31.9%	30.0%
③企業等が個人情報保護法を正しく理解し、適切な安全対策をする	40.0%	36.0%	32.7%	30.9%	29.4%	35.6%
④利用者やプロバイダ等に対し情報の停止、削除を求める	24.4%	33.3%	36.5%	42.7%	41.3%	28.7%
⑤人権相談や電話相談を充実する	4.4%	4.0%	3.8%	0.9%	6.9%	7.7%
⑥違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する	44.4%	54.7%	55.8%	65.5%	55.0%	54.3%
⑦その他	2.2%	4.0%	3.8%	0.9%	3.1%	0.4%
⑧特になし	4.4%	1.3%	2.9%	1.8%	5.0%	8.9%

■性別

男性は「違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する」53.8%、女性は「インターネット利用者に対して、個人のプライバシーや名誉に関し、正しく理解するための教育・啓発活動を推進する」60.9%と、それぞれ最も高くなっている。

	男性	女性	回答したくない
合計	288人	448人	5人
①インターネット利用者等に対して、個人のプライバシーや名誉に関し、正しく理解するための教育・啓発活動を推進する	53.1%	60.9%	20.0%
②プロバイダに対して、個人のプライバシーや名誉に関し、正しく理解するための教育・啓発活動を推進する	29.5%	29.5%	60.0%
③企業等が個人情報保護法を正しく理解し、適切な安全対策をする	28.1%	36.8%	40.0%
④利用者やプロバイダ等に対し情報の停止、削除を求める	35.8%	34.2%	60.0%
⑤人権相談や電話相談を充実する	7.6%	4.2%	-
⑥違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する	53.8%	57.1%	60.0%
⑦その他	2.8%	1.6%	-
⑧特になし	6.3%	4.2%	-

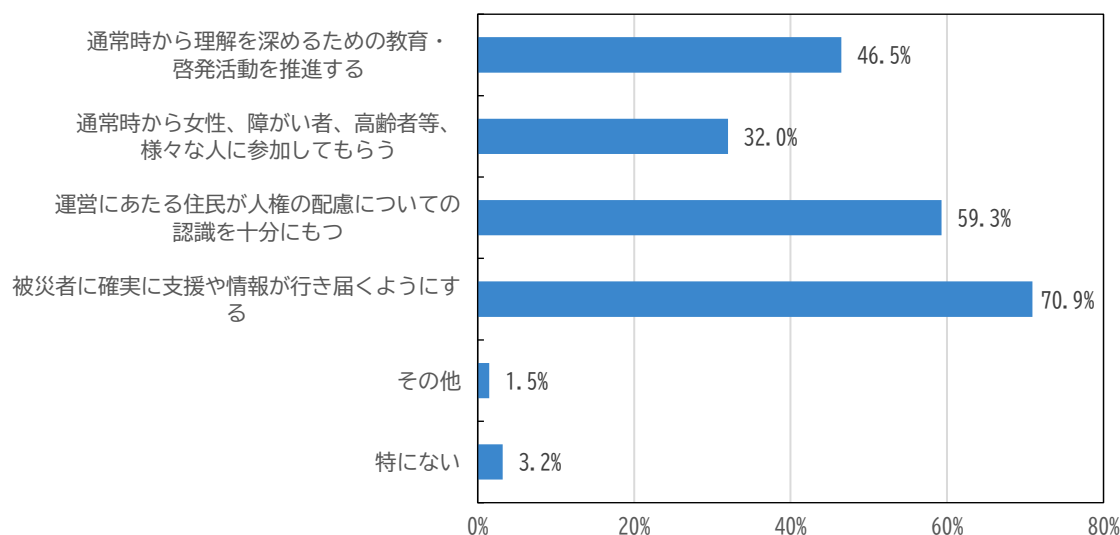
(12) 大規模災害発生時の人権問題について

問 25 あなたは、地震や台風など大規模災害発生時において、人権に配慮するために特に必要なことはどのようなことだと思いますか。 【〇は3つ以内】

■全体

「被災者に確実に支援や情報が行き届くようにする」が70.9%で最も高く、次いで「運営にあたる住民が人権の配慮についての認識を十分にもつ」59.3%、「通常時から理解を深めるための教育・啓発活動を推進する」46.5%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①通常時から災害時における人権への配慮についての理解を深めるための教育・啓発活動を推進する	352	44.7%	46.5%
②通常時から自主防災組織等に女性、障がい者、高齢者等、様々な人に参加してもらう	242	30.7%	32.0%
③行政の職員や避難所の運営にあたる住民が災害時における人権の配慮についての認識を十分にもつ	449	57.1%	59.3%
④被災者に確実に支援や情報が行き届くようにする	537	68.2%	70.9%
⑤その他	11	1.4%	1.5%
⑥特にない	24	3.0%	3.2%
<無回答>	30	3.8%	
合計	787	100.0%	757



【参考】高知県調査

被災者に確実に支援や情報が行き届くようにする 36.6%、運営にあたる住民が人権の配慮についての認識を十分にもつ 36.6%、通常時から理解を深めるための教育・啓発活動を推進する 24.6%

■年代別

30歳代は「行政の職員や避難所の運営にあたる住民が災害時における人権の配慮についての認識を十分に持つ」が最も高く、その他の年代では「被災者に確実に支援や情報が行き届くようにする」が最も高くなっている。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	44人	75人	105人	110人	163人	258人
①通常時から災害時における人権への配慮についての理解を深めるための教育・啓発活動を推進する	47.7%	48.0%	43.8%	50.0%	42.9%	48.1%
②通常時から自主防災組織等に女性、障がい者、高齢者等、様々な人に参加してもらう	34.1%	24.0%	30.5%	29.1%	31.9%	35.3%
③行政の職員や避難所の運営にあたる住民が災害時における人権の配慮についての認識を十分にもつ	50.0%	65.3%	50.5%	65.5%	64.4%	57.0%
④被災者に確実に支援や情報が行き届くようにする	68.2%	61.3%	63.8%	75.5%	74.2%	72.9%
⑤その他	-	1.3%	3.8%	1.8%	1.8%	0.4%
⑥特になし	2.3%	2.7%	1.9%	3.6%	2.5%	4.3%

■性別

「被災者に確実に支援や情報が行き届くようにする」がそれぞれで最も高くなっている。

	男性	女性	回答したくない
合計	291人	459人	5人
①通常時から災害時における人権への配慮についての理解を深めるための教育・啓発活動を推進する	47.8%	45.8%	60.0%
②通常時から自主防災組織等に女性、障がい者、高齢者等、様々な人に参加してもらう	31.3%	32.2%	40.0%
③行政の職員や避難所の運営にあたる住民が災害時における人権の配慮についての認識を十分にもつ	54.0%	62.5%	80.0%
④被災者に確実に支援や情報が行き届くようにする	68.7%	72.3%	80.0%
⑤その他	1.4%	1.5%	-
⑥特になし	4.8%	2.2%	-

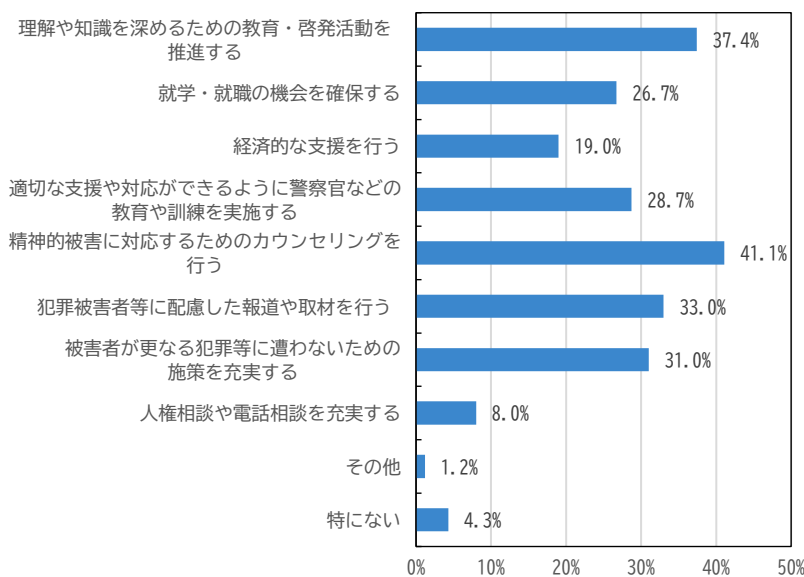
(13) 犯罪被害者等の人権問題について

問 26 あなたは、犯罪被害者等(被害者やその家族・遺族)の人権を守るために特に必要なことはどのようなことだと思いますか。 【○は3つ以内】

■全体

「精神的被害に対応するためのカウンセリングを行う」が41.1%と最も高く、次いで「理解や知識を深めるための教育・啓発活動を推進する」37.4%、「犯罪被害者等に配慮した報道や取材を行う」33.0%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①犯罪被害者等に対する理解や知識を深めるための教育・啓発活動を推進する	280	35.6%	37.4%
②就学・就職の機会を確保する	200	25.4%	26.7%
③経済的な支援を行う	142	18.0%	19.0%
④犯罪被害者等の立場に立って適切な支援や対応ができるように警察官などの教育や訓練を実施する	215	27.3%	28.7%
⑤精神的被害に対応するためのカウンセリングを行う	308	39.1%	41.1%
⑥犯罪被害者等に配慮した報道や取材を行う	247	31.4%	33.0%
⑦被害者が更なる犯罪等に遭わないための施策を充実する	232	29.5%	31.0%
⑧人権相談や電話相談を充実する	60	7.6%	8.0%
⑨その他	9	1.1%	1.2%
⑩特にない	32	4.1%	4.3%
<無回答>	38	4.8%	
合計	787	100.0%	749



【参考】高知県調査

精神的被害に対応するためのカウンセリングを行う 33.4%、理解や知識を深めるための教育・啓発活動を推進する 28.8%、犯罪被害者等に配慮した報道や取材を行う 34.5%

■年代別

10歳・20歳代、40歳代、50歳代、60歳代は「精神的被害に対応するためのカウンセリングを行う」、30歳代、60歳代は「犯罪被害者等に配慮した報道や取材を行う」、70歳以上は「犯罪被害者に対する理解や知識を深めるための教育・啓発活動を推進する」が最も高くなっている。

	10歳・ 20歳代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 以上
合計	45人	75人	105人	109人	161人	252人
①犯罪被害者等に対する理解や知識を深めるための教育・啓発活動を推進する	35.6%	26.7%	36.2%	41.3%	33.5%	42.1%
②就学・就職の機会を確保する	28.9%	29.3%	26.7%	21.1%	32.9%	24.2%
③経済的な支援を行う	20.0%	18.7%	20.0%	18.3%	20.5%	17.5%
④犯罪被害者等の立場に立って適切な支援や対応ができるように警察官などの教育や訓練を実施する	17.8%	22.7%	26.7%	27.5%	32.3%	31.7%
⑤精神的被害に対応するためのカウンセリングを行う	51.1%	41.3%	52.4%	48.6%	37.9%	33.3%
⑥犯罪被害者等に配慮した報道や取材を行う	40.0%	46.7%	38.1%	27.5%	37.9%	24.6%
⑦被害者が更なる犯罪等に遭わないための施策を充実する	24.4%	29.3%	22.9%	37.6%	29.8%	33.7%
⑧人権相談や電話相談を充実する	4.4%	4.0%	2.9%	5.5%	7.5%	13.5%
⑨その他	2.2%	2.7%	1.9%	-	1.2%	0.8%
⑩特になし	4.4%	-	1.0%	4.6%	4.3%	6.7%

■性別

男性は「犯罪被害者等に対する理解や知識を深めるための教育・啓発活動を推進する」38.4%、女性は「精神的被害に対応するためのカウンセリングを行う」44.6%と、それぞれ最も高くなっている。

	男性	女性	回答したくない
合計	289人	453人	5人
①犯罪被害者等に対する理解や知識を深めるための教育・啓発活動を推進する	38.4%	36.9%	20.0%
②就学・就職の機会を確保する	27.7%	26.0%	40.0%
③経済的な支援を行う	24.6%	15.7%	-
④犯罪被害者等の立場に立って適切な支援や対応ができるように警察官などの教育や訓練を実施する	30.1%	28.0%	20.0%
⑤精神的被害に対応するためのカウンセリングを行う	35.3%	44.6%	80.0%
⑥犯罪被害者等に配慮した報道や取材を行う	30.8%	34.0%	60.0%
⑦被害者が更なる犯罪等に遭わないための施策を充実する	26.3%	34.0%	20.0%
⑧人権相談や電話相談を充実する	10.0%	6.8%	-
⑨その他	0.7%	1.5%	-
⑩特になし	5.5%	3.3%	-

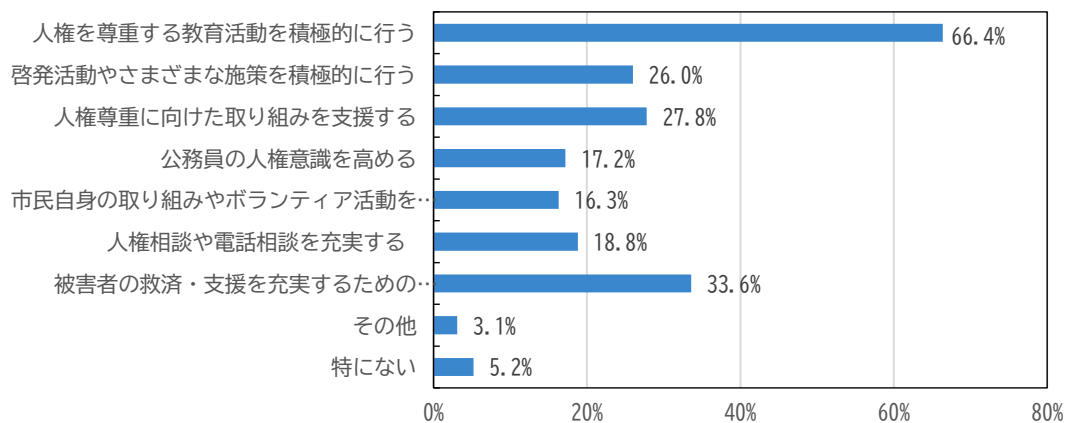
(14) 人権尊重の社会の実現に関することについて

問 27 あなたは、人権が尊重される社会を実現するために特に必要なことはどのようなことだと思いますか。【〇は3つ以内】

■全体

「人権を尊重する教育活動を積極的に行う」が66.4%と最も高く、次いで「被害者の救済・支援を充実するための法整備を促進する」33.6%、「人権尊重に向けた取り組みを支援する」27.8%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①学校教育や社会教育を通じて、人権を尊重する教育活動を積極的に行う	497	63.2%	66.4%
②行政が市民の人権意識の高揚に向けた啓発活動やさまざまな施策を積極的に行う	195	24.8%	26.0%
③行政が市民や企業、事業所、NPO等の団体による人権尊重に向けた取り組みを支援する	208	26.4%	27.8%
④公務員の人権意識を高める	129	16.4%	17.2%
⑤市民自身の取り組みやボランティア活動を充実させる	122	15.5%	16.3%
⑥人権が侵害された被害者のための人権相談や電話相談を充実する	141	17.9%	18.8%
⑦人権が侵害された被害者の救済・支援を充実するための法整備を促進する	252	32.0%	33.6%
⑧その他	23	2.9%	3.1%
⑨特にない	39	5.0%	5.2%
<無回答>	38	4.8%	
合計	787	100.0%	749



【参考】高知県調査

学校教育や社会教育を通じて、人権を尊重する教育活動を積極的に行う 63.0%、被害者の救済・支援を充実するための法整備を促進する 29.6%、行政が、県民や企業、事業所、NPO法人等の団体による人権尊重に向けた取り組みを支援する 28.1%

■年代別

各年代において「学校教育や社会教育を通じて、人権を尊重する教育活動を積極的に行う」が最も高くなっている。

	10歳・ 20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳 以上
合計	45人	74人	105人	110人	162人	251人
①学校教育や社会教育を通じて、人権を尊重する教育活動を積極的に行う	64.4%	62.2%	72.4%	64.5%	66.0%	66.5%
②行政が市民の人権意識の高揚に向けた啓発活動やさまざまな施策を積極的に行う	24.4%	18.9%	25.7%	26.4%	25.3%	28.7%
③行政が市民や企業、事業所、NPO等の団体による人権尊重に向けた取り組みを支援する	24.4%	24.3%	24.8%	30.0%	32.1%	26.7%
④公務員の人権意識を高める	8.9%	13.5%	15.2%	13.6%	19.8%	20.7%
⑤市民自身の取り組みやボランティア活動を充実させる	13.3%	20.3%	18.1%	18.2%	12.3%	16.3%
⑥人権が侵害された被害者のための人権相談や電話相談を充実する	17.8%	20.3%	14.3%	17.3%	13.6%	23.9%
⑦人権が侵害された被害者の救済・支援を充実するための法整備を促進する	33.3%	36.5%	28.6%	33.6%	37.7%	32.7%
⑧その他	2.2%	4.1%	6.7%	4.5%	1.9%	1.6%
⑨特になし	4.4%	-	2.9%	4.5%	7.4%	6.8%

■性別

「学校教育や社会教育を通じて、人権を尊重する教育活動を積極的に行う」がそれぞれ最も高くなっている。

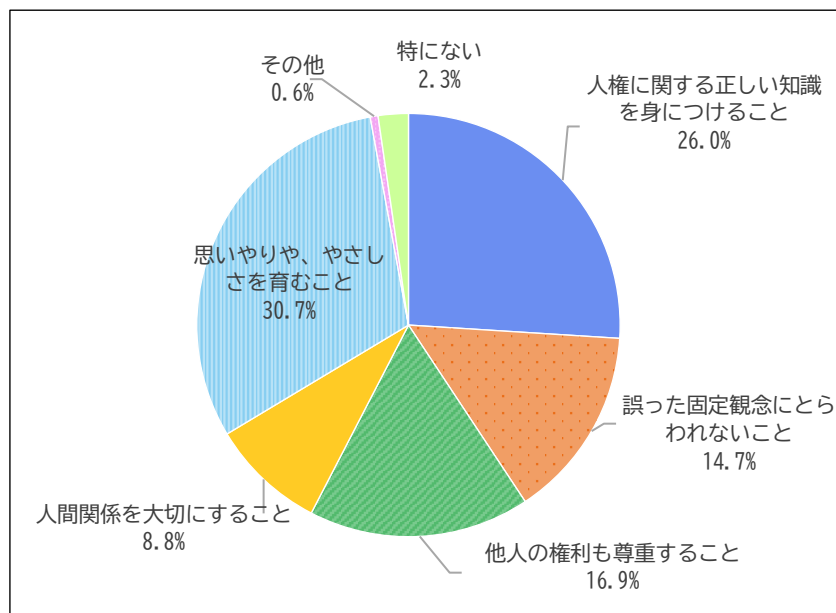
	男性	女性	回答したくない
合計	290人	452人	5人
①学校教育や社会教育を通じて、人権を尊重する教育活動を積極的に行う	63.4%	68.6%	60.0%
②行政が市民の人権意識の高揚に向けた啓発活動やさまざまな施策を積極的に行う	24.8%	27.0%	-
③行政が市民や企業、事業所、NPO等の団体による人権尊重に向けた取り組みを支援する	25.2%	29.6%	20.0%
④公務員の人権意識を高める	21.7%	14.4%	20.0%
⑤市民自身の取り組みやボランティア活動を充実させる	18.3%	14.8%	20.0%
⑥人権が侵害された被害者のための人権相談や電話相談を充実する	19.0%	18.4%	40.0%
⑦人権が侵害された被害者の救済・支援を充実するための法整備を促進する	30.7%	35.6%	40.0%
⑧その他	4.5%	2.2%	-
⑨特になし	6.2%	4.4%	-

問 28 あなたは、人権が尊重されるために、市民一人ひとりが特に心がけたり、大切にすべきことは何だと思えますか。 【1つに○】

■全体

「思いやりや、やさしさを育むこと」が 30.7%と最も高く、次いで「人権に関する正しい知識を身につけること」26.0%、「他人の権利も尊重すること」16.9%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①人権に関する正しい知識を身につけること	171	21.7%	26.0%
②非合理的な因習や風習、誤った固定観念にとらわれないこと	97	12.3%	14.7%
③自分の権利とともに、他人の権利も尊重すること	111	14.1%	16.9%
④自分が生活している地域社会やその人間関係を大切にすること	58	7.4%	8.8%
⑤他人に対する思いやりや、やさしさを育むこと	202	25.7%	30.7%
⑥その他	4	0.5%	0.6%
⑦特にない	15	1.9%	2.3%
<無回答>	129	16.4%	
合計	787	100.0%	658



■年代別

70歳以上は「人権に関する知識を身につけること」が最も高く、その他の年代では「他人に対する思いやりや、やさしさを育むこと」が最も高くなっている。

また、10歳・20歳代で「非合理因習や風習、誤った固定概念にとらわれないこと」が22.0%と他の年代に比べ高くなっている。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	41人	66人	98人	99人	137人	216人
①人権に関する正しい知識を身につけること	26.9%	22.8%	23.5%	24.2%	25.6%	29.1%
②非合理的な因習や風習、誤った固定概念にとらわれないこと	22.0%	15.2%	19.4%	13.1%	16.8%	10.6%
③自分の権利とともに、他人の権利も尊重すること	14.6%	10.6%	20.4%	16.2%	16.8%	18.1%
④自分が生活している地域社会やその人間関係を大切にすること	-	13.6%	5.1%	6.1%	5.8%	13.9%
⑤他人に対する思いやりや、やさしさを育むこと	34.1%	34.8%	28.6%	38.4%	31.4%	25.5%
⑥その他	-	1.5%	1.0%	1.0%	0.7%	-
⑦特になし	2.4%	1.5%	2.0%	1.0%	2.9%	2.8%

■性別

「他人に対する思いやりや、やさしさを育むこと」がそれぞれ最も高くなっている。

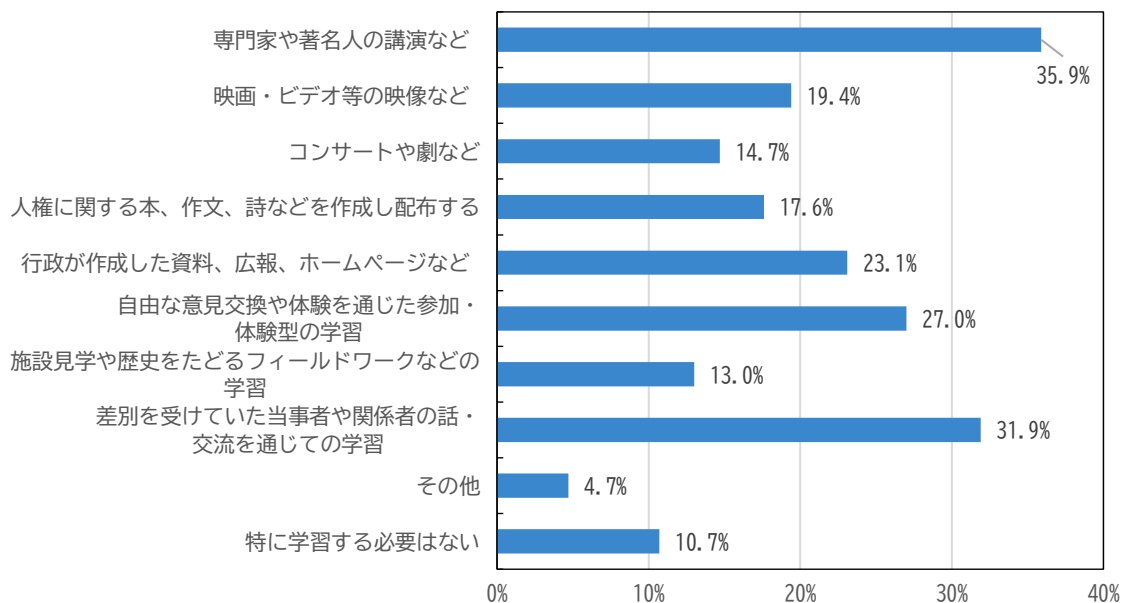
	男性	女性	回答したくない
合計	254人	399人	4人
①人権に関する正しい知識を身につけること	23.3%	28.0%	-
②非合理的な因習や風習、誤った固定概念にとらわれないこと	11.0%	16.3%	75.0%
③自分の権利とともに、他人の権利も尊重すること	20.5%	14.5%	25.0%
④自分が生活している地域社会やその人間関係を大切にすること	9.8%	8.3%	-
⑤他人に対する思いやりや、やさしさを育むこと	31.1%	30.8%	-
⑥その他	1.2%	0.3%	-
⑦特になし	3.1%	1.8%	-

問 29 人権教育・啓発のための取り組みについて、宿毛市に対して望むことはありますか。 【〇はいくつでも】

■全体

「専門家や著名人の講演など」が 35.9%と最も高く、次いで「差別を受けていた当事者や関係者の話・交流を通じての学習」31.9%、「自由な意見交換や体験を通じた参加・体験型の学習」27.0%、「市が作成した資料、広報、ホームページなど」23.1%となっている。

カテゴリ	件数	全体	無回答除外
①専門家や著名人の講演など	251	31.9%	35.9%
②映画・ビデオ等の映像など	136	17.3%	19.4%
③コンサートや劇など	103	13.1%	14.7%
④人権に関する本、作文、詩などを作成し配布する	123	15.6%	17.6%
⑤行政が作成した資料、広報、ホームページなど	162	20.6%	23.1%
⑥参加者同士の自由な意見交換や体験を通じた参加・体験型の学習	189	24.0%	27.0%
⑦施設見学や歴史をたどるフィールドワークなどの学習	91	11.6%	13.0%
⑧差別を受けていた当事者や関係者の話・交流を通じての学習	223	28.3%	31.9%
⑨その他	33	4.2%	4.7%
⑩特に学習する必要はない	75	9.5%	10.7%
<無回答>	87	11.1%	
合計	787	100.0%	700



【参考】高知県調査

講演会や研修 31.5%

インターネットなど 16.5%、掲示物(ポスターや電車バスの車内広告など)11.3%

■年代別

10歳・20歳代で「差別を受けていた当事者や関係者の話・交流を通じての学習」が最も高く、その他の年代で「専門家や著名人の講演など」が最も高くなっている。

	10歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計	44人	69人	102人	102人	146人	235人
①専門家や著名人の講演など	25.0%	26.1%	44.1%	40.2%	32.9%	37.0%
②映画・ビデオ等の映像など	22.7%	13.0%	17.6%	16.7%	25.3%	18.7%
③コンサートや劇など	25.0%	14.5%	20.6%	17.6%	15.1%	8.9%
④人権に関する本、作文、詩などを作成し配布する	6.8%	13.0%	7.8%	15.7%	21.2%	23.8%
⑤行政が作成した資料、広報、ホームページなど	22.7%	20.3%	14.7%	27.5%	21.2%	27.2%
⑥参加者同士の自由な意見交換や体験を通じた参加・体験型の学習	25.0%	18.8%	32.4%	26.5%	26.0%	28.5%
⑦施設見学や歴史をたどるフィールドワークなどの学習	13.6%	21.7%	17.6%	14.7%	12.3%	8.1%
⑧差別を受けていた当事者や関係者の話・交流を通じての学習	34.1%	21.7%	32.4%	37.3%	32.2%	31.5%
⑨その他	2.3%	11.6%	3.9%	4.9%	5.5%	3.0%
⑩特に学習する必要はない	11.4%	8.7%	8.8%	6.9%	12.3%	12.8%

■性別

性別で見ると、「専門家や著名人の講演など」がそれぞれ最も高くなっている。

	男性	女性	回答したくない
合計	278人	415人	5人
①専門家や著名人の講演など	34.2%	36.6%	60.0%
②映画・ビデオ等の映像など	20.1%	18.8%	20.0%
③コンサートや劇など	11.2%	17.1%	20.0%
④人権に関する本、作文、詩などを作成し配布する	19.1%	16.6%	20.0%
⑤行政が作成した資料、広報、ホームページなど	22.7%	23.1%	60.0%
⑥参加者同士の自由な意見交換や体験を通じた参加・体験型の学習	25.2%	28.4%	-
⑦施設見学や歴史をたどるフィールドワークなどの学習	11.5%	14.2%	-
⑧差別を受けていた当事者や関係者の話・交流を通じての学習	32.7%	31.6%	-
⑨その他	5.8%	4.1%	-
⑩特に学習する必要はない	12.2%	9.9%	-